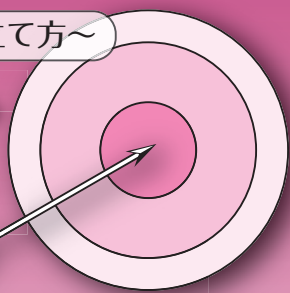


働きながら 勉強する人のための 合格ナビ



第1回 直視する！

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

本試験、お疲れ様でした。
 合格ラインに届いている人は、合格発表まで「朗報を待つ」ことになると思いますが、合格ラインに届かず、再度、来年に向けて学習を開始しなければならない人にとっては、「また、1年勉強か…」と、学習をすぐに開始することができない人も多いのではないのでしょうか。
 合格をつかむためには効率的な学習をする必要があります。そのためには、まず、この1年を振り返ってみて、自分の至らなかつたところを「直視する」ことが大事です。ただがむしやりに学習を開始した場合、また同じ結果になってしまうことも当然考えられます。足りなかつたことは何で、どう克服すればいいのかを、本試験までの時間に余裕のあるこの時期に考えてみることは決して無駄なことにはなりません。

自分のスコアブックを作成する

今年の本試験の結果（スコア）表を作成することで、2014年本試験を振り返ってみましょう。作成のフォームは【表1】のとおりです。なお、各科目の状況を的確につかむために、択一式は10科目に分けています。

手順1 「あなたの得点」を入力

あなたの今年の本試験の得点状況を入力しましょう。とはいっても、正解がわからないと書けませんので、各受験予備校が出している解答速報等で確認をしてみてください（【表1】参照）。

手順2 「取るべき得点」を入力

次に、今年の本試験で取っておくべき得点を入力しましょう。各受験予備校が出している「合格ラインの推定得点」と「解答速報の正答率」を利用します。

まず、択一式と選択式の総得点欄には、各受験予備校が出す合格ラインをそのまま入力しましょう。予備校によって、合格ラインは違うと思いますが、ここはスコア表を作成するためのものですから、どこかひとつの学校のものか、平均的な数値で結構です。

続いて、各科目の取るべき得点ですが、選択式は各科目の基準点の3点がボーダーラインとされ

【表1】2014年本試験の結果（スコア）表

【択一式】	労基	安衛	労災	雇用	徴収	労一	社一	健保	厚年	国年	総得点
あなたの得点	/7点	/3点	/7点	/7点	/6点	/5点	/5点	/10点	/10点	/10点	/70点
取るべき得点	/7点	/3点	/7点	/7点	/6点	/5点	/5点	/10点	/10点	/10点	/70点
達成か否か											

【選択式】	労基	労災	雇用	労一	社一	健保	厚年	国年	総得点
あなたの得点	/5点	/5点	/5点	/5点	/5点	/5点	/5点	/5点	/40点
取るべき得点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	/40点
達成か否か									

ることが標準的（2点や1点はあくまで救済によるもの）なので、最初から3点を入れています。択一式の場合には、合格ラインと予測される総得点までの点数の数まで、70肢ごとに正答率の高いほうから順番に印をつけていきます。

【表2】を例にして考えてみましょう。【表2】は、2014年本試験向けに辰巳法律事務所が実施したONEコイン模試での択一式の各科目の正答率を表にまとめたものです。たとえば、労基法問1の正答率は67%で、約3人に2人が正解できた問題でした。この表を元に、正答率の高い問題に印(✓)を付けていき、一番右の合計欄には科目ごとに印を付けた数の合計を入れます。

まず、試しに正答率50%以上の問題に印をつけてみましょう。この場合、印を付けた数は全部で43個になります。この模試での択一式の合格ラインとされた総得点は45点でしたので、印をつけた43個のみを正解できて43点止まりになり、あと2点不足で合格に達しません。そこで、1%下げたみて、49%の問題の個数を数えてみます。正答率49%の問題は、安衛問9、労災（徴収）問9、雇用問3、国年問9の4問ありますので、43+4

=47点になり、合格ラインに届き（を上回り）ます。

次に、科目ごとに印をつけた数を数えてみます。労基5個、安衛2個、労災6個、雇用3個、徴収5個、労一（一般常識の問1～問5）2個、社一（一般常識の問6～問10）4個、健保7個、厚年5個、国年8個となりますので、45点を取るためには、科目ごとにそれぞれ「労基・安衛7点、労災（徴収）9点、雇用（徴収）5点、一般6点、健保7点、厚年5点、国年8点」を取らなければならなかったことがわかります。

手順3 「達成か否か」を入力

「あなたの得点」と「取るべき得点」を比較してみます（【表3】参照）。

- ・「あなたの得点」が「取るべき得点」より高ければ「◎」
- ・「あなたの得点」が「取るべき得点」と同じであれば「○」
- ・「あなたの得点」が「取るべき得点」より1点低い場合「×」
- ・「あなたの得点」が「取るべき得点」より2点以上低い場合「××」

【表2】 択一式の正答率のチェックの仕方の例

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	合計
労基・安衛	67✓	32	70✓	76✓	65✓	46	61✓	51✓	49✓	42	7点
労災（徴収）	70✓	79✓	64✓	64✓	85✓	55✓	44	81✓	49✓	53✓	9点
雇用（徴収）	78✓	63✓	49✓	39	46	33	48	78✓	29	61✓	5点
一般	9	47	38	51✓	57✓	50✓	55✓	60✓	69✓	40	6点
健保	47	55✓	61✓	72✓	55✓	65✓	32	47	63✓	72✓	7点
厚年	46	46	55✓	42	54✓	56✓	64✓	18	37	59✓	5点
国年	74✓	48	70✓	64✓	76✓	66✓	74✓	55✓	49✓	46	8点

【表3】 択一式の正答率のチェックの仕方の例

【択一式】	労基	安衛	労災	雇用	徴収	労一	社一	健保	厚年	国年	総得点
あなたの得点	5/7点	1/3点	5/7点	5/7点	5/6点	1/5点	4/5点	5/10点	5/10点	7/10点	43/70点
取るべき得点	5/7点	2/3点	6/7点	3/7点	4/6点	2/5点	4/5点	7/10点	5/10点	8/10点	45/70点
達成か否か	○	×	×	◎	◎	×	○	××	○	×	××

【選択式】	労基	労災	雇用	労一	社一	健保	厚年	国年	総得点
あなたの得点	4/5点	3/5点	5/5点	3/5点	2/5点	1/5点	5/5点	4/5点	27/40点
取るべき得点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	3/5点	27/40点
達成か否か	◎	○	◎	○	×	××	◎	◎	○

手順4 今年の本試験の得点の総括をする

総得点の合格ラインに届かなかったとすれば、どの科目が足りなかったのかを考えてみましょう。択一式で「×」「××」となってしまった科目を挙げてみましょう。

- ① その科目の学習(時間・理解)は十分だったのか。
- ② 苦手(科目・箇所)を放置していなかったか。
- ③ 学習も十分に、苦手でもなかった場合は、本試験での時間配分を思い出してみる。
 - a. 本試験の際、見直しをしたか。
 - b. 本試験の際、他の科目に時間を取られて、その科目に十分、時間を割けなかったということはないか。

本誌をお読みいただいている方の中には、「こんなことをしなくたって、できなかった科目は自分でわかるよ。」と思われるかもしれませんが、しかし、社労士試験は、相対評価で合格が決まります。合格できる約7%(2013年は5.4%でしたが…)に食い込むためには、合格者が取れた問題を正解できないと合格にはたどり着けません。

この例でみると、あなたが仮に労災(徴収)で9点という高い得点を取っていたとしても、合格するためには9点は必要な得点であったことがわかります。逆に、雇用や厚年は、5点取れば合格ラインに届く得点にいけるはずであって、必ずしも悲観する得点ではないことがわかります。

もし、正答率を考慮しないで出来不出来を考えた場合、合格ライン45点に対して、1科目あたりの取るべき得点は、 $45 \div 7 \approx 6.5$ 点となりますから、「7点以上を取っていれば良く、6点以下ではダメ」となります。仮に労災(徴収)のあなたの得点が7点の場合、本来は9点を取らないといけなかった科目であったのに、「できた」という判断をしてしまい、雇用や厚年のあなたの得点が6点であった場合、必ずしも悲観する得点ではないのに「ダメだった」という判断になってしまいます。科目ごとにどうであったのかをしっかりと見据えて、2015年の本試験には臨みたいものです。

また、こうすることで、確実に正解すべき問題とそうでなかった問題のすみわけができます。今後、2014年本試験問題の復習をする際には、単に問題を解くのではなく、どういうレベルの問題だったのかを見極めながら解くことが可能になり、「この問題ができさえすれば合格できる」という励みになります。

※ご自分で今年の本試験の正答率を確認しながら表を作成するのが面倒だと思う方は、辰巳法律研究所のホームページ(<http://tatsumi.co.jp/>)に入力込みのフォームを掲載しておきますので参考にしてみてください(9月1日以降に掲載予定)。

手順5 学習の優先度を定める

🕒 択一式の総得点は高得点であったのに、選択式の各科目の基準点でつまづいてしまった方

➡ こういう方は、この1年間の学習をかなり頑張ってきて、結果も伴っているわけですので、択一式に関する学習は、2014年と同じようにやっていけばよいということになります。学習の重点を多少、選択式にシフトして学習をしていきましょう。

まず、条文の穴埋めに関しては、何より条文を愚直なまでに読みこなすことが必要です。択一式ができていますので、その条文の意味は理解できていますので、テキストに書かれている内容を2014年向けの学習と同じように理解していくのではなく、条文をその都度、しっかり読み込んでいきましょう。

テキストは、条文が最初に掲載されていて、その後解説があることが多いので、今までは解説部分で理解をしていたとしても、今後は確実に条文に目を通していききたいものです。

また、選択式は、条文からの出題だけではなく、白書がらみの問題や計算問題も出題されますので、昨今の厚生労働行政に意識を向けていくことや、計算問題が出題される可能性のある箇所では、注意深く学習することを心がけてください。

ただし、選択式を意識するあまり、択一式は大丈夫だと考えてしまって、問題演習をおろそかにしてしまうケースも見受けられます。ある年の本試験の択一式は52点という高得点であったのに、翌年の本試験で択一式対策が不十分なために42点まで下がってしまうなどということもよくあることです。あくまでも理解中心の択一式に関する学習をしっかりと行う中で、選択式を意識するよう心掛けてください。

🕒 択一式の総得点が足りなかった方

➡ 択一式の総得点が足りなかった方に関しては、何が原因だったのかを考えてみましょう。

原因の違いによる対処の仕方を簡単に記載しておきます。

原因1 一般的に学習量が不足していた

対策1 忙しい中でも時間を作る

学習する時間を確実に確保しましょう。日頃、仮に問題が1問でも解ける時があれば、その時間も学習に組み込みましょう。通勤時間や昼休み、仕事の合間の時間等、学習できる時間を増やすことはできないかを考えてみてください。

対策2 やる気が出るようにするためには…

やる気になるために必要なことは何なのかを考えてみてください。将来、自分が社労士で働く姿を想像してみるとか、合格できなかった悔しさを思い出すとか、人によって違うと思います。それから、やる気になれる「時間帯」がいつで、やる気になれる「場所」がどこかを考えてみましょう。自分のスタイルが朝型なのに、主に夜に勉強していた場合ははかどらないことも考えられます。喫茶店では集中できるのに、自宅ではダメなケースもあります。また、学習した時間の記録を付けることで、張り合いがでてきます。

原因2 ある一定の科目の得点状況が思わしくなく、苦手科目が総得点にブレーキをかけてしまった

対策1 苦手科目に時間を多く振り分ける

苦手科目がある場合、その科目を重点的に学習していく必要があります。まずは費やす時間を多く取ることで、ゆっくりでいいので確実に理解をしていってください。ただし、一から百まで全部、理解しようと思うと次へ進めなくなってしまいます。他の科目よりは学習時間を多く確保するものの、ある程度の理解で次へ進んでいくという割り切りも必要です。

対策2 スケジュールを立てる

通常、学習する順番が最後の方にくる一般常識

や厚生年金は、理解が手薄なまま、本試験に臨んでしまうことがあります。学習の当初に年間の学習の大まかなスケジュールを作成してみてください。独学でスケジュールをどのように組んだらよいか分からない場合には、受験予備校等のカリキュラムを参考にして、同じように組んでみてはいかがでしょうか。

原因3 学習の仕方に問題がある

対策1 問題演習不足をなくす

理解することを重視するあまり、テキストを読みこなすことばかりに重点を置いてしまう方がいます。実際に問題に落とし込まれた際に正解できないのは、問題を解く量が少なかったことが考えられます。

対策2 テキストで理解すると同時並行的に問題を解いていく

テキストを読み込んで内容を理解していくインプット学習を全部終えてから問題を解いていませんか？ テキストをある程度読みこなしたらすぐに問題を解いてみると、その部分がどのように問題に出題されるのかがわかり、理解が深まります。この場合、5択の問題集より、条文順（テキストの項目順）の問題集のほうが確です。テキストの各項目ごとにインプット学習で理解を深めた直後に、その範囲の1問1答形式の問題を解くことで、問題への対処能力が高まるとともに、その箇所での論点と出題されやすさが明確になるからです。

原因4 当日の体調や環境が悪く、力を十分に発揮できなかった

対策 体調管理を万全に

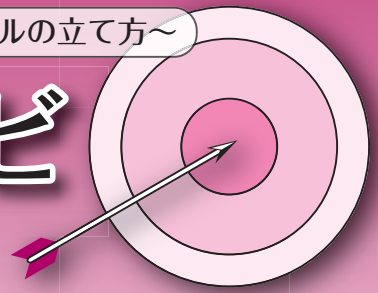
本試験は、毎年、8月という暑い過酷な時期に行われますので、体調管理には十分留意する必要があります。「風邪をひかない・けがをしない」ように気を付けると同時に、本試験前の時期には、仕事や私生活面でストレスをためないよう心がけましょう。

本試験直後からすぐに学習に取りかかることができないという方も多いと思います。まずは、2014年本試験の疲れを十分取ってください。しばらくの間は休み、鋭気を養うことも大事です。9月の間は、社労士の学習時間の確保のために今まで我慢してきたことに時間を割いて、「よし！やるぞ。」という気になってから始めるくらいでちょうどよいかもしれません。気持ちの切替えができれば、即、開始してください。ただし、10月になってもやる気になれない場合でも、来年の本試験を受験すると決めている方は、最初は1日30分の学習時間でもよいので、10月にはスタートを切りましょう。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第2回 耕す!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

10月になりました。そろそろ学習をスタートさせる時期ですね。

多くの受験生は、インプット学習(テキスト等で各科目の内容を理解すること)から入っていくと思いますが、実はこのインプットこそが合否を左右する“学習の要”です。今回はインプットの重要性をお伝えします。

1. “教材の選定”が合否を分ける!?

受験を決意したあなたが一番にすべきことは、どのテキストを使って学習していくのか、教材を選定することです。テキストは、これから約1年間、あなたの受験生活の大切なパートナーになるわけですから、慎重に選びたいものです。

毎年、多くの受験生から「どんな参考書を使ったら良いですか?」という質問を受けますが、私はこう考えます。

① 初学者の方

比較的読みやすい(それほど分厚くない)教材から取り組むのがいいでしょう。初学者の場合、最初の目標は“一通り全学習範囲に目を通すこと”です。社労士試験の学習範囲は広いものの、各々の法律には関連性があるため、まずはざっとテキストを通読し、「労働基準法なら理解できそう!」とか「年金の勉強は面白そうだ!」など、手ごたえをつかむことが大切です。

② 受験経験者で、「選択式」で合格を逃してしまった方

近年の選択式は、細かい判例や通達、労働統計や白書等からの出題が目立っていることを考えると、できるだけ情報量の多い教材を探ることが大切でしょう。選択式で悔しい思いをされた方は、反対に言えば択一式の実力は十分あるわけですから、他の受験生が択一式対策で頭を悩ませている間に、じっくりとテキストを読み込み“知識量”を増やすことで、大きくリードすることができます。

③ 受験経験者で、「択一式」の得点が及ばなかった方

先月号の「合格ナビ」を使ってご自身の得点を分析し、弱点分野を洗い出してください。その上で、例えば「国民年金が難しかった」という方であれば、今年は年金法の図解が豊富な教材を選ぶと良いでしょう。

「社会保険に比べて労働科目の得点が低かった」という方ならば、労働分野の記載が充実している参考書で学習を行うべきでしょう。学習経験者の強みは、自分の“弱点”がわかっていることです。時間は十分あります。苦手科目に早めに取り組むことで、有利なスタートダッシュを切ることができるでしょう。

2. インプットは畑をクワで耕す作業と同じ

インプットは、畑で野菜を作る際の「種を植える前の土を耕す作業」に似ています。大規模農家ではなく、家庭菜園を想像してみてください。クワで土を耕して、種をまき、水をやり、育てていきます。ここでは、冬場に種をまいて、夏に実がなるナスを例にお話しします。ナスを作るには、最初にクワで畑を深く掘り起こしておく必要があります。ナスは根を地中深くまで伸ばす習性がありますが、固い土にあたってしまうと、それ以上、根を伸ばすことができなくなり、水分や栄養素を取りこむことができなくなってしまいますからです。たとえば、クワで土を深く掘り起こして種を植えたケース(この場合をAとする)と、10～20セ



ンチ程度しか掘り起こさずに種を植えたケース（この場合をBとする）とを比べると、どちらも芽が出て、当初は同じようにすくすくと成長します。ところが、Bの場合は、根が地中に深く入り込めず、成長期に水分や栄養素を十分に得られないため、途中から育ちが悪くなります。そうってから慌てて水や肥料をやっても、結局、実はなるものの、栄養価の低い小ぶりのナスができることになってしまいます。

一方、Aの場合は、土の深い掘り起こしができているため根を四方に伸ばすことができ、その結果、養分を十分に吸収できます。その後、あまり手間をかけなくても成長していきます。種を植えた後は、水をやり、雑草を刈り、害虫駆除をし、台風に備えることさえ怠らなければ、さほど労力を費やさなくてももりっぱなナスが実を結ぶのです。

このように、インプットは、ナスの成長に欠かせない「根を伸ばすことができるかどうか」ということと同じ意味合いがあり、この根幹部分がしっかりとできていなければ、直前期になって慌てて学習時間を増やしたり、様々な対策を講じてみても、軌道修正することが難しくなります。

3. インプットと同時並行的に過去問に目を通す

インプットを行う際には、同時並行的に過去問にも目を通していきましょう。たとえば、労働基準法の総則を学習した直後に、総則の部分の過去問をチェックします。

ここで肝心なのは、解けるかどうかの問題ではありません。過去問に目を通すことで、テキストに書いてあった内容が「どのように」「どれくらい」問題として落とし込まれているのかをつかむことが大事です。仮に、5ページにわたってテキストに記載されている内容が、過去の本試験に全く出題されていなかったとしたら、その5ページは後回しにしてもいい箇所となります。ところが、わずか1ページなのに過去に繰り返し出題されている場合には、念入りに学習すべき部分といえるで

しょう。

インプットの際には、テキストで理解した直後に「過去問題集」に目を通すことを心がけてください。そうすることで、テキストを、ただ漠然と眺めていただけではわからなかった“条文の重要度”や“出題の論点”が見えてきます。

4. インプットは「信号の強さ」に匹敵

私事になりますが、先日、「速読」のセミナーに参加してきました。その講演の中で、速読の効果とは「限られた時間の中で記憶力を高めたい人のためにある」もので、

$$K \text{ (記憶力)} = I \text{ (信号の強さ)} \times R \text{ (反復)}$$

の公式が成り立つと話していました。もし、速読ができるようになって、今まで10時間かかって読みこなしてきた1冊の本を1時間で読めるようになれば、10時間で10回繰り返し読むことができます。限られた時間の中で反復する時間を確保できること、すなわちRの数値を高めることができることこそ、記憶力に結びつく要件というわけです。

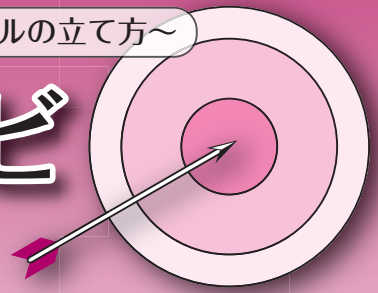
この理論からすると、社労士試験の学習におけるインプットはI（信号の強さ）を高めることのほうになります。最初のインプットで深く内容を押さえることに成功すると、Iの数値が高くなり、反復回数がさほど多くなくても記憶力が高まります。よく、「過去問を10回繰り返し読んできたのですが、得点が一向に伸びません。」「テキストを10回まわした（反復して読んだ）のですが、すぐ忘れてしまうんです。」という方がいらっしゃいますが、これは、当初のインプットがおざなりでIの数値が低いがために、反復する回数が多くても得点に結びつかないものと思われます。

- ・インプットがうまくいった例：
 - I (信号の強さ：10) × R (反復：5回) = 50
 - その結果、択一式50点で合格
- ・インプットがうまくいかなかった例：
 - I (信号の強さ：2) × R (反復：20回) = 40
 - その結果、択一式40点で不合格

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第3回 組み立てる！

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

学習を開始するにあたって、いつ・何を・どのようにやるか、おおまかな計画を立てましょう。初学者や独学の方向けに、基本的なスケジュールの組み方をお伝えします。

1. 社労士の学習の時期の区切り

社労士試験の学習期間は2つの時期に分けることができます。ゴールデンウィーク前までの「**法体系習得期間**」(知識・情報を頭脳に入力する時期)と、その後の「**合格直結追い込み期間**」(実践を重視しラストスパートをかける時期)です。

ゴールデンウィークは、マラソンでいう「折り返し地点」のようなものです。

マラソンの場合、前半の入りをどの程度にするかはランナーによって違います。前半から飛ばしてライバルに差を付ける作戦でいくか、前半はペースをつかむことだけを心掛け、後半にスパートするように組み立てるかは、人によって異なるでしょう。いずれにせよ、まずは前半をどのように走るかを考えるとと思います。

同じように、社労士試験対策のスケジュールを組む場合にも、現時点で、本試験当日までのすべての期間について、細部まで計画を立てる必要はありません。後半の「合格直結追い込み期間」の学習は、前半の「法体系習得期間」の学習の進捗度合で変わってきますので、まずは「法体系習得期間」の学習計画をおおまかに立て、いつ、どの科目をどのように学習していくかを考えてみることで

2. 1科目を1週間のペースで理解

社労士試験の受験科目は10科目ありますから、1科目ずつ、週を単位に学習していきましょう。基本的に1科目を1週間で終わらせませす。仕事が忙しかったり、体調不良で学習がはかどらなかつたりした場合は予備の週でカバーしましょう。ボリュームが多い科目や苦手意識のある科目の場合は最初から2週間の計画を立てても構いません。

仮に11月から学習を開始した場合、次ページの図のように、11月2日からの週に労働基準法を仕上げ、次の9日からの週に労働安全衛生法を終えます。年末年始は予備の週として割り振ると、一通り全範囲が終わるのが、早くて1月いっぱいになります。一度に細部まで完璧に覚えようとすると学習ペースが遅くなりますから、最初の一巡目は、細部にこだわらず全体像をつかむことを心がけ、2回転目にはもう少し深い部分を掘り下げていくなど、「じっくり時間をかけて1回」こなすより、「さっさと終わらせて2回」やることを意識すると良いでしょう。

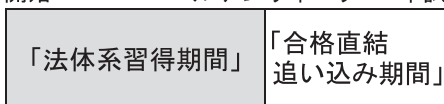
受験予備校では、社労士のテキストは「通読」「熟読」「精読」のステップで、最低でも3回は読むことを指導しています。

3. イン・アウト連動型の学習を！

次に、具体的な学習手順ですが、まずは、本誌11月号を参考に「テキスト」と「(過去)問題集」を用意してください。

ここでは週休2日制の会社員(月～金曜日に仕事があり、土日が休みである方)をベースにスケ

学習開始 ゴールデンウィーク 本試験日



↑
この期間のスケジュール
をおおまかに組む



〈11月から学習を開始した場合の例〉

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

←労基
←安衛
←労災
←雇用

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

←徴収
←労一
←健保
←(予備週)
←(予備週)

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

←(予備週)
←国年
←厚年
←社一
←(予備週)

ジュールを組み立てていきます。当然のことながら、丸1日休める日（休日）と仕事のある日（平日）では、1回の学習に費やせる時間の長さや学習場所が違ってきますから、会社員の場合、平日の学習時間をどれくらい確保することができるかがカギとなります。朝や夜、そして通勤時間や仕事の合間の休憩時間など、細切れ時間を寄せ集めて、少しでも多くの学習時間を確保できるよう心掛けましょう。

また、テキストを読み込んで内容を理解する“インプット学習”と、問題演習に取り組む“アウトプット学習”は、連動して行うことが大切です。労働基準法から一般常識まで、受験10科目のインプットをすべて終わらせた後で、ようやくアウトプットに取りかかるというやり方は、正直なところ、非効率です。労働基準法の総則を学習した直後に、総則部分の演習問題をチェックするなど、インプットとアウトプットは切り離さずに、常にセットで取り組むことが理想です。

「演習問題に取り組むのは、テキストの 4. 内容が理解できてから…」こう考える あなたは、Aタイプの学習法を！

■Aタイプ（インプット主体派）

土	日	月	火	水	木	金
机に向かい、じっくり テキストを読み込もう！ インプット学習		細切れ時間を利用した問題演習で 知識の定着を図る！ アウトプット学習				

「問題集に取りかかる前に、しっかりとした知識を身に付けたい」と考える“インプット主体派”の方は、細切れ時間にインプットを行うよりも、まとまった時間が確保できる休日をフルに活かし、休日に、時間をかけて丁寧にテキストを読み込んでいくと良いでしょう。自宅、図書館や自習

室、喫茶店など、自分が集中してインプット学習に取り組める場所を探しておくことも大切です。東京の場合ですと、千代田区や豊島区の図書館は夜10時まで利用することができますし、最近ではアカデミーヒルズやスタディラウンジなどの有料自習室も人気ですね。

そして、平日の細切れ時間には演習問題を解くことによって、土日で習得した内容が身に付いているかどうかを確認していきます。

5. 「テキストをじっくり読むのは苦手…。 問題を解きながら各法律の論点を理解 したほうが、効率がいい！」と考える あなたはBタイプ！

■Bタイプ（アウトプット中心派）

月	火	水	木	金	土	日
細切れ時間にテキストを読み、 おおまかに法体系を理解！ インプット学習					演習問題に取り組みながら 知識の肉付けを図る！ アウトプット学習	

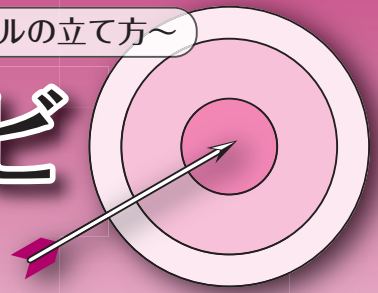
一方、長時間机に向かってテキストを熟読するのは苦手…という“アウトプット中心派”の方は、通勤電車や休憩時間などの細切れ時間をインプット学習に充てると良いでしょう。平日は、テキストをざっと通読し大まかな内容を押さえる程度に留め、休日のまとまった時間にじっくりと問題に取り組み、自分の理解や解釈が違っていたら、すぐにその場でテキストに立ち戻りチェックするやり方です。

試験に出題されそうな箇所だけ学習すればいいと割り切っている方や、とりあえず問題を解くことができるだけの知識を身に付ければ十分と考えている方は、この方法が適しているといえるでしょう。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第4回 活用する!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

独りで学習を進めていると、「自分の勉強方法で大丈夫なのか?」「このやり方で間違っていないのか?」と、不安になってしまうこともあるでしょう。そんなときは、「受験予備校」を利用するのも1つの手です。今回は、独学の方へ向けた受験予備校の活用法をお伝えいたします。

1. かしこい予備校の活用法

～無料講座で情報Get!～

予備校を利用するといっても、その利用の仕方はさまざまです。

I) 全面的に予備校を利用する

インプットおよびアウトプットを含んだパックコースなどを利用する場合です。ただ、20万円位のコースが多いため、躊躇してしまう方もいるでしょう。

II) アウトプット講座のみ予備校を利用する

インプットは独学で行い、答練や直前期の模擬試験などのアウトプットだけを受講する場合があります。Iに比べると、かなり費用を抑えられることがメリットといえるでしょう。

III) 苦手科目のインプット講座のみ予備校を利用する

受験予備校は、雇用保険法だけとか、年金科目だけなど、独学では理解しづらい科目のみ受講することも可能です。あまり宣伝されていないため、気づかない方も多いようですが、安価な費用でインプット講義を聞いてみたい方にとっては、便利な制度かも知れません。

また、予備校では、定期的な「無料講座」や「ガイダンス講義」などが行われていることも、独学者にとっては朗報です。

こういった無料講座等に出席するメリットとしては、①テーマに沿った情報収集ができる、②他の受験生に刺激を受ける、などが挙げられます。

①については、“知識を習得”できることや、“自

分に適した学習法”を聞くことができます。

②に関しては、ざっと教室の中を見渡してみましょう。ご高齢なのに必死に取り組んでいる方や、1番前の席に座って講義の一言一句を聴き漏らすまいと頑張っている方など、真剣に取り組んでいるライバルの姿が目焼き付くことで、モチベーションアップにつながるはずですよ。

2. アウトプット講義を受講するメリットは?

「高いお金を払って予備校の答練を受けるぐらいなら、市販の問題集を購入して自分で勉強したらいいのでは?」と思われる方も多いでしょう。しかし、市販の問題集を1人で解く場合と予備校で答練を受講する場合には、以下の2点で大きく異なります。

(1) 正答率が判るから、復習がはかどる!

答練は“得点”よりも“自分の弱点”を知るツールとして利用すべきものです。つまり、答練を通じて、自分が理解できていない箇所・覚えていない箇所をつかむことが大切ですが、それだけなら、市販の問題集でも用は足ります。

実は演習問題の中には、必ず解答しなければならない問題と優先度の低い問題とがあり、その見極めのためにあるのが“正答率”です。

予備校の答練では、通常、正答率が示されます。例えば、正答率80%以上の問題は、5人に4人以上が正解している問題です。もしその問題をあなたが間違えてしまったならば、多くの受験生が目を通してページを読み飛ばしてしまったか、他の受験生が重要事項と認識している箇所を把握

できていなかったなど、あなたのインプット学習に‘抜け’があったことになります。

一方、正答率30%以下の問題であれば、大多数の人が間違え、いわゆる捨て問と考えられますから、正解できなくても復習にさほど時間をかける必要はありません。

(2) 平均点を知ることで、自分のポジションを確認できる！

予備校の答練では、平均点も出されますので、現在、自分はクラスの中のどの位置にいるのかが一目瞭然です。

仮に、平均点に到達できていなかったとしても、まだまだ時間的余裕はあるわけですから、正答率50%以上の問題（2人に1人以上が正解できる問題）に重点的に取り組むことにより、得点の上積みをお願いします。

3. 苦手科目だけインプット講義を利用することも可能！

本試験直前期になると、多くの予備校で「年金対策講座」や「一般常識攻略講座」など、いわゆ

る直前の総まとめ講座が開始されますが、冒頭に書きましたように、通常のインプット講義についても、科目ごとに販売（ばら売り）している予備校は何社かあります。

「労働基準法のテキストは読みこなせたけど、雇用保険法はどれもイメージがつかめない」とか「配点の大きい年金科目だけでも、じっくりと学習に取り組みたい」などと感じたときは、その科目のインプット講義だけを受講してみてもいいでしょうか。情報量の多い予備校の教材や講師の的確な解説は、受験生の学習を強力にバックアップしてくれるでしょう。

また、講義受講後は復習が大切です。予備校では、仮に雇用保険法であれば、1コマ2時間半程度の講義（平日に講義を受けるとすれば週2回で2コマ、週末（土・日）に講義を受けるとすれば週1回で2コマ）が4～6コマあると思われませんが、目安としては、講義時間の約2倍の時間はその講義の復習にあててください。

手順としては、『講義受講』→「過去問を利用し復習」→「テキストの読み込み」のサイクルを、下図の要領で、講義受講後1週間以内にやってみてください。

〔平日に講義を受ける場合の例〕

月	火	水	木	金	土	日
講義受講	過去問を利用し復習		講義受講	過去問を利用し復習		テキスト読み
雇用①の講義を受講	雇用①の範囲の過去問を解く	雇用①の範囲で、昨日、✓をした過去問を確認	雇用②の講義を受講	雇用②の範囲の過去問を解く	雇用②の範囲で、昨日、✓をした過去問を確認	雇用① 雇用②のテキストを一読

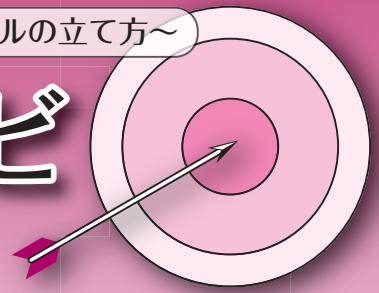
- ・月曜日：雇用保険法①の講義を、集中して聴いてください。
- ・火曜日：雇用保険法①の講義範囲に対応する過去問を解いてみます。このときのポイントは、その範囲内の過去問に目を通し終えることを目標とし、わからない問題や知識が曖昧な問題があったとしても、その問題に「✓」をつけ、解説を読み流す程度に留めることです。つまり、都度テキストに立ち返るといったやり方ではなく、テキストでの確認は、後回し（翌日）にしてください。（後記※参照）
- ・水曜日：昨日、目を通した過去問で「✓」がついている箇所だけを拾い上げ、じっくりテキストと照らし合わせたいので、類題にも対応できるよう、ポイントを整理しておきましょう。
- ・木曜日：雇用保険法②で月曜日と同じことを行います。
- ・金曜日：雇用保険法②で火曜日と同じことを行います。
- ・土曜日：雇用保険法②で水曜日と同じことを行います。
さらに、テキスト（雇用保険法①②）のすべての範囲（講義では触れられなかった箇所も含め）に目を通し、過去問での出題確率が高い項目を中心に、再度テキストを熟読してください。
- ・日曜日：予備日として、月～土曜日にできなかったところを補います。

※ 解けない問題に当たったときは、すぐにテキストで確認をしたいところですが、1つひとつの問題をテキストと照らし合わせていくとかなりの時間を要します。割り切って、問題だけを解き進めていきましょう。振り返らなければいけない問題には「✓」をしておき、後でまとめて確認したほうが“ラクに”“早く”こなすことができます。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第5回 習慣化する!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

〈2014年社労士本試験合格ライン等のデータ〉

	合格点	救済科目
択一式	45点	一般常識 3点
選択式	26点	雇用保険 2点, 健康保険 2点

択一式問題形式		
	組合せ問題	個数問題
H26	9問	4問 (初)
前年	13問	出題実績なし

	受験申込者数	受験者数	受験率	合格者数	合格率	最年少・最高齢合格者
H26	57,199人	44,546人	77.9%	4,156人	9.3%	20歳・79歳
前年比	-10.1%	-9.6%	+0.4%	+1,490人	+3.9%	—

平成26年11月7日、第46回社会保険労務士試験の合格者が発表されました。

このデータを目にすると、平成26年の本試験結果を思い出し、胸が締め付けられる人もいるでしょう。「択一式であと1点足りなかった」という方もいれば、「合格率が高かったこの年こそ、しっかり勉強して合格しておくべきだった」と悔やむ方、「個数問題で慌ててしまって時間配分がうまくいわずに失敗した」という方など、様々だと思います。

学習時間があまりにも不足していた人は別として、あと少しで合格ラインに届いたという人にとっては、「学習をもう少しだけがんばってやっていたらよかった」という思いがどこかにあるはずです。「1月は試験までまだ時間があるからゆるくりしてしまった」「3月の年度末は仕事が忙しくほとんど学習しなかった」などと、どこかで手を抜いてしまったがために、学習の進捗が遅れ、それが最後まで尾を引いてしまうことはよくあることだからです。

つい先日、平成26年の合格者の方とお話をしましたが、その際、合格できたのは、自分で決めた時間に決めた場所でコンスタントに学習ができたからだという話をしていました。

1. 今年こそ、学習を習慣化しよう!

年間を通して、ムラなく学習できれば合格に近

づくとも誰もが思うことでしょう。それには、毎日の学習を“習慣”にすることです。

ときにはやる気がでない日や、体調がすぐれない日があったり、また、他に興味や関心のある出来事があり、学習を後回しにしたくなることもあるはずです。しかし習慣になってしまえば、やる気がなくても、多少の体調不良でも、とりあえず机に向かうことができます。そして調子が悪くても、学習を続けていくうちに、少しずつエンジンがかかってくるようになります。

人は、朝起きて、顔を洗ったり、歯を磨いたりすることを日課として普通に行っています。会社員は毎日の通勤を難なくこなしています。毎朝、ジョギングをしている人は、朝早く起きることも、走ることもさほど苦にならなくなります。このように、人は習慣の力を利用して、知らず知らずのうちに毎日のやるべきことを楽に長続きさせるようにしています。

とすれば、学習も同じようにできないものなのでしょうか。なかなかできない理由として、「やれるときにできるだけやればよい」と考え、ゆったりやらなかったりといった“ムラ”があるからです。「昨日は5時間勉強したけど、今日はやる気になれず手つかずで、次の日は1時間だけやった」…このようなことでは、いつまでたっても習慣にはなりません。

では、勉強を習慣にするためには、どうすればよいのでしょうか。最初のうちは意識的に努力し

なければなりません。ただ、その期間は、およそ1カ月とされています。逆に言うと、最初の1カ月は、どんなに辛くても、毎日続ける必要があるということになります。お酒やタバコをやめたいと思っている人にとっても、最初の1カ月間を乗り切れればやめられる可能性が高くなるのと同じ理屈です。

そうであれば、最初の1カ月間だけ辛抱して、学習を習慣にするよう頑張ってみてはいかがでしょうか。辛いのは最初の1カ月間だけとわかっていれば、多少、我慢して乗り越えることができるはずです。それには、最初の1カ月は、いつも同じ時間帯に学習をすることがポイントです。はじめは無理のない範囲で、学習時間帯を決めて実行してみてください。「夜、10時にテキストを読む」と決めたら、どんなに観たいテレビ番組があってもテキストを読み、「帰りの通勤電車で問題を解く」と決めたら、必ずそうするのです。

これが習慣になれば、その時間帯になると、無意識のうちに心身が勉強モードに入るようになるので、自然とペースに乗ることができ、脱落してしまうリスクが減ります。

2. さらに学習する場所を組み込む！

自分にとっての“学習に適した場所”を探しましょう。これは、個人個人によって違ってきます。

静かなところでしか集中できない人は、自宅の部屋や図書館、自習室、レンタルルーム、インターネットカフェなどが適しています。反対に雑然としていたほうが集中できるという人は、自分の家のリビングや居間、喫茶店、ファミレスなどのほうが合っているかもしれません。中には公園のベンチのほうが集中できるという人もいます。

喫茶店ひとつをとってみても、明るさ、騒々しさ、寒暖、隣の人との距離、流れる音楽、椅子の座り心地、テーブルの広さなどまちまちですから、自分に合ったところを探し出すようにしましょう。

最近では、コンビニにイートインコーナー（コンビニ店内で食事等ができる場所）が増え、便利になりました。私が思うに、宣伝のアナウンスが流れることや椅子が固いことが難点ですが、100円コーヒー1杯を注文すれば席を確保できますので、仮に数10分程度の空き時間でも、あまり出費を心配せずに利用できます。コンセントの差込口もあるところが多いので、パソコン・スマホなどの通信機器を利用した勉強をする人にとっても利用価値があります。

自宅で学習する場合、各部屋の壁を最大限に利用しましょう。たとえば、自分の部屋には「雇用保険の失業等給付の体系図」を貼っておき、自然と目に入るようにしておきます。トイレには、壁に「安衛法の安全衛生管理体制」や「雇用保険の所定給付日数」の表を貼っておきます。そうすればトイレに行くたびに、それを目にするようになるので、勉強しようという意識がなくても、自然と記憶に留めていくことになります。

また、場所によって勉強の仕方がおのずと変わってきますので持ち物等の事前準備が重要です。

たとえば、満員電車のつり革につかまって分厚いテキストに目を通すのは困難です。移動の際には、教科書やノートを大々的に広げることにはできないので、必然的に集約したものに目を通したりするなどの工夫が必要です。条文を音読して覚えていきたい場合は、周囲に誰かいる状態では、周りの迷惑になるのでできません。

新年を迎え、大多数の人が新たな気持ちでがんばっていかうと思っているでしょう。学習に弾みを付けるためには、早い時期に学習を習慣化できるかどうかポイントです。

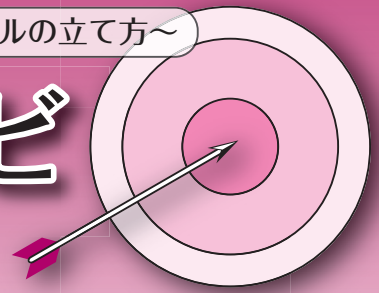
以下に、平日の時間と場所の習慣化のための表を掲載しておきました。この表に当てはめて、日々の学習の時間帯と場所を決め、この機に学習を習慣化するよう試みてください。

		1	2	3	4	5	6	7	8
		起床後 (家)	行きの 通勤	出社前	日中	昼休み	帰社後	帰りの 通勤	就寝前 (家)
時間 帯	開始時刻	:	:	:	:	:	:	:	:
	終了時刻	:	:	:	:	:	:	:	:
場所									

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第6回 追いつく!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

「9月から少しずつ勉強してきたけれど、労働基準法しかできていない。どうしよう??」という状況の方、いらっしゃいませんか。今から学習に取り掛かって遅れた分を取り戻すには、どのような点に注意していけばよいのでしょうか。今回は、「今から勉強を始めて大丈夫かな? 間に合うかな?」…そんな疑問にお答えします。

1. 学習期間と1日の学習時間の関係

合格に必要な学習期間は、一般的に“700～1,000時間程度”、つまり、約6カ月から1年の学習期間が必要だと言われています。学習範囲が広い社労士試験においては、早く準備を始めるに越したことはありません。特に仕事と両立されている方の場合は、なおさらです。したがって、9月に学習を開始した方(学習期間1年)と2月から学習を開始される方(学習期間6カ月強)では、基本的には前者の方が有利になります。

ですが、過去に私が接してきた合格者の中には、あえて学習期間を短く設定し、短期間で集中して取り組むことを選択した方も多くいらっしゃいます。その方に言わせると、「自分は集中力がないほうなので、1年間かけてだらだら学習するよりも、6カ月程度の期間に絞り込んで勉強したほうがモチベーションが下がらなくて良い」そうです。また「自分は記憶力に自信がないので、9月に習得した知識を翌年8月の本試験まで維持するのが難しい」と思い、2月頃から取り組んだ」という方もいます。

学習開始時期が遅くなればなるほど、「時間が足りない」「最後まで終わらない」というリスクを伴いますから、いわゆる“Plan(計画)-Do(実行)-See(評価)”の中でも、特に「学習計画の策定」が重要です。

1日の学習時間は、どの位が目安なのかというと、

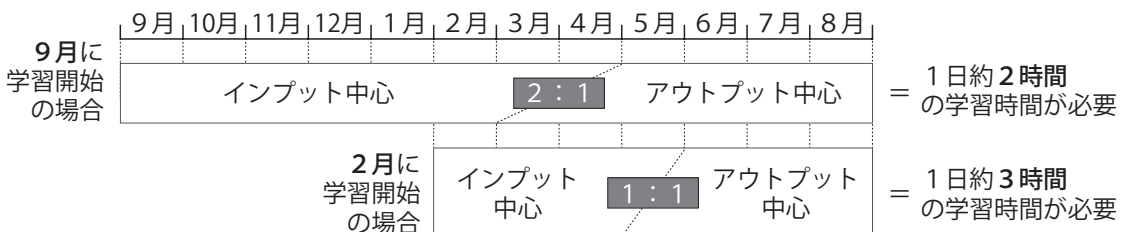
試験に合格するために“最低700時間は必要である”と仮定した場合、学習開始時期に応じて次のようになります。

9月から学習を開始した場合には、「700時間÷12カ月÷30日=1.94時間≒約2時間」となりますが、2月から開始するのであれば、「700時間÷7カ月÷30日=3.33時間≒約3時間20分」となり、開始時期が遅くなるほど、1日当たりの学習時間が増えることは当然です。

また、学習期間の短い方の留意点は、インプット学習(テキストを読み内容を理解する)中心の時期(前半)と、アウトプット学習(問題演習などで知識が身に付いているかを確認する)中心の時期(後半)の割合が違ってきます。

早くから学習に着手されている方であれば、十分な時間がありますから、じっくりと時間をかけてインプットに取り組むことが可能です(本誌11月号参照)。しかし、2月から開始(または本腰を入れて勉強)する方の場合、インプットはなるべく迅速に済ませ、アウトプットに要する時間を確保するよう努めるべきです。どんなに知識を増やしても、それを答案に反映させる力(解答力)がなければ合格は不可能であることを忘れてはなりません。

割合でいうと、図に示したとおり、9月開始の場合は、インプット中心とアウトプット中心の期間の比率は「2:1」、2月開始の場合は、「1:1」程度です。



運動選手のトレーニングを例に考えてみましょう。もし、今現在がオフシーズンで、本大会まで十分に時間が取れる場合は、ウェイトトレーニングや走り込みなどで、十分、基礎体力（足腰）を鍛えておくべきです。しかし、シーズンに入ってから、基礎体力よりも実践力を強化するトレーニングが不可欠です。

2. 集中できる時間帯・場所はいつ・どこか？

受験勉強も運動選手のトレーニングと同じと考え、どんなトレーニングをいつ、どこで行うかを決める必要があります。特に、「いつ」「どこで」行うかは、短期間で効率的に学習を進めていくにあたっては、とても大切な要素です。本誌2月号でも学習する時間と場所について紹介しましたが、皆さんの反響が大きかったため、もう1歩、踏み込んでいきます。

(1) あなたは「平日コツコツ派」？ それとも「休日じっくり派」？

平日と休日、どちらにトレーニングのウェイトを置くかということ、まず考えましょう。1日3時間学習しなければならないことを考えると、「平日だけ」「休日だけ」ではこなすきれません。仕事がある平日にどの位の学習時間を確保できるかを考えて、残りの時間を休日に割り振ります。

平日コツコツ派のA子「休みの日はゆっくりしたいし、買物もしたいのよね。その代わり普段は一生懸命勉強するわ。」

休日じっくり派のB郎「平日は会社が忙しくて時間があまり取れない。勉強は頭の冴えている休みの日が中心だ！」

➡どちらのタイプにしても、「平日だけ」「休日だけ」の学習は危険！

(2) あなたは「朝型」？ それとも「夜型」？

仕事がある平日については、朝の時間を活用するか、夜の時間を利用するか、自分にとってはかどるのはどちらなのかを考えてみましょう。

朝型タイプのC夫「夜は仕事で疲れていて頭がどうも働かない。よーし、毎晩なるべく早く寝て、朝早く起きることにしよう。」

朝、自宅で学習してから出勤
通勤途上の喫茶店で学習してから出社
夜型タイプのD美「朝は頭が回らなくてダメなのよね。それに朝早く起きようとしても、起きられためしがないし…」
夜、寝る時間を決めてそれまで勉強
先に軽く仮眠を取ってから夜遅くまで

(3) あなたは「自宅派」？ それとも「外派」？

自宅はテキストや問題集を広げてじっくり取り組めるなど、自分に適した学習空間を作ることができる反面、テレビやインターネットなどの自宅ならではの誘惑があります。外で学習する場合、周囲に気を遣わなければならないことやテキストなどの持ち運びに難点がありますが、うまく機能すれば学習時間が広がります。

自宅派のE介「自宅の机でしっかり集中して勉強するのが一番いい。大事な所は声を出して覚えたいしね。それに自宅で大好きなモーツアルトを聴きながらだと、これがまたはかどるんだよね。」
外派のF恵「家じゃ、勉強できないわ。つい、テレビをつけちゃうし、SNS見ちゃうし…」

喫茶店	図書館	自習室	} 時と場合によって組合せ
ファミレス	ファストフード店		

(4) せっかくの通勤時間、活用しない手はない！

電車通勤者の場合、朝と帰り（夜）では、混雑の度合い等が違うため、状況に合わせて活用しましょう。車通勤の人は“耳”が空いています。音声で聞く学習ができないかを考えてみてください。

朝の通勤電車で学習するG江「朝はちょっと並べば座れるから、問題集に取り組んでみようかしら…」

朝の通勤電車で学習するH也「帰りは目が疲れて文字を読むのが辛いから、その分、朝の電車でやらないと！」

帰りの通勤電車で学習するI雄「帰りは時間をずらせば、朝ほど混んでないから、テキストを開けるぞ！」

帰りの通勤電車で学習するJ江「電車の中で勉強しておけば、自宅に戻ったらすぐ寝られる…と思うと頑張れるんだよね。」

〈チェックシート〉

1. 学習がはかどる曜日	平日							
2. 学習がはかどる時間	朝		昼		夜			
3. 学習がはかどる場所	自宅	外				自宅		
		行きの通勤電車	出社するまで	会社の昼休み	帰宅するまで	帰りの通勤電車		
計	時間/週	分	分	分	分	分	分	分

休日		
土曜	日曜	祝日
午前	午前	午前
分	分	分
午後	午後	午後
分	分	分
計	計	計
分	分	分

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第7回 目を向ける!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

今月号の科目別実力養成講座は「厚生年金保険法」でした。残る一般常識科目が終了すれば、すべての学習範囲に一通り目を通したことになります。「あと、一息だ!」と気持ちを引き締めている方がいる反面、難解な年金科目の学習に閉口されている方もいらっしゃるでしょう。今回は、学習に興味を持てなくなったときの打開策を考えていきましょう。

1. 社労士試験の学習は生活に役立つ知識がいっぱい!

確かに、受験対策だけを意識して年金科目を学習すると、膨大な学習量にうんざりしてしまいがちです。ですが、テレビ・新聞等のメディアを見ると、頻繁に年金関係の記事が取り上げられていることからわかるように、年金問題は私たち国民にとって大変関心の高い話題です。

ついこの間も、「老後資金は、〇千万円必要!」とある雑誌の見出しを見かけたところですが、このような記事の執筆者は、それこそ社会保険労務士やFP（ファイナンシャル・プランナー）であることが多いようです。ただし、算出された金額については、「3,000万円で十分」という記事もあれば、「1億円は必要」というものもあり様々です。ところで、これらの記事は、何を根拠にこの金額を挙げているのでしょうか。また、記事によって金額にかなりの開きがありますが、なぜこれほど違ってくるのでしょうか。受験勉強の合間に、ちょっと考えてみてください。

2. 根拠とするデータの選定や計算の仕方によって違ってくる老後資金

具体的に、いくつかの記事を例に話を進めていきます。

X記事 『老後資金1億円って、本当?』の算出根拠

生命保険文化センター「平成25年度 生活保障に関する調査」では、18歳から69歳までの現役・リタイア世代を対象に、夫婦2人での「老後の最低日常生活費」「ゆとりある老後生活費」の金額について質問をした結果、以下のとおりとなった。

- ・最低日常生活費 月平均22.0万円
- ・ゆとりある老後生活費 月平均35.4万円

したがって、夫婦2人で老後を過ごす期間を25年（60歳から85歳まで）とすると、「35.4万円×12カ月×25年＝1億620万円」となり、「約1億円」が、ゆとりのある老後を過ごすのに必要な資金ということになる。



A太

「1億円って、意識調査の結果を基にして計算しているけど、実際にかかっている生活費を基にするほうがよいのでは? それにしても、老後を過ごす期間が25年って、アバウトすぎるよなあ。」



B子

「小さな子供がいて夫婦で30万円で暮らしている30代の私からすると、高齢夫婦2人暮らしで35.4万円の生活費って、驚沢な気もするけど…」

別の切り口で見てください。

Y記事 『お金で泣かない老後「夫婦で9,000万円」どう工面?』の算出根拠

総務省の家計調査（平成25年平均結果速報）によると、高齢夫婦の無職世帯（夫65歳以上、妻60歳以上）の生活費は、月約27.2万円である。ある年齢の人が平均してその後何年生きるかを表す「平均余命」は、60歳時点では男性23.14年、女性28.47年（平成25年簡易生命表）となっているが、60歳の夫と2つ年下の妻が平均余命とされる年齢まで生きると仮定して必要なお金を試算すると、「約9,000万円」となる。

<計算根拠>

- ① 夫が83歳で亡くなるまでの23年間の夫婦2人の必要生活資金
27.2万円×12カ月×23年＝約7,500万円
- ② 妻が88歳で亡くなるまでの妻1人で過ごす7年間の必要生活資金
27.2万円×0.7×12カ月×7年＝約1,600万円 ※夫死亡後の妻1人分の生活費をそれまでの7割とする。
- ③ ①、②の合計額は、約9,000万円となる。



C男

「生活費27万円は、X記事とは違って、総務省の家計調査によるものだから妥当な金額に思えるな。それでも9,000万円も必要かあ。」



D美

「1億円とか9,000万円とか、本当にみんなそんなに貯金できてるのかしら？ 確か、日本人の平均貯蓄額って、一千数百万円くらいだって聞いたけど…」

X記事、Y記事からわかるとおり、根拠とするデータの選定や計算の仕方によって、必要老後生活資金として算出される金額は違ってきます。どのデータをどのように使用すべきかは、執筆者の考え次第であり、腕の見せ所とも言えましょう。

3. 実際に蓄えなければならない老後生活資金はいくらか

ちなみに、X記事、Y記事共に、必要とされる老後資金の中には公的年金が含まれています。つまり、実際にリタイアするまでに蓄えておかなければならない老後生活資金とは、老後に必要な生活資金の総額から、公的年金で受給する金額を差し引いた金額であると考えてよさそうです。

Z記事 『老後資金は3,000万円必要』の算出根拠

公的年金の受取額は夫が会社員、妻が専業主婦という厚生労働省のモデル世帯でみれば、夫婦で現在月約22.7万円（内訳：夫の厚生年金＝約9.8万円、夫・妻の基礎年金＝約6.4万円）になる（平成26年版厚生労働白書「資料編」）。夫が65歳から年金をもらい始め、夫の死後（夫83歳死亡と仮定）は妻が遺族厚生年金（夫の老齢厚生年金の4分の3）をもらうと、60歳の夫と2つ年下の妻の夫婦の受け取れる年金総額は、約6,000万円であり、Y記事で算出された9,000万円から差し引くと、老後資金として「約3,000万円」が必要となる。

<計算根拠>

- ① 夫婦2人で受け取る年金額：22.7万円×12カ月×18年＝約4,900万円
- ② 夫死亡後、妻が受け取る年金額：(6.4万円+9.8万円×3/4)×12カ月×7年＝約1,150万円
- ③ 生涯受け取る年金総額：①+②＝6,000万円 ※老齢基礎年金だけの人は当然これより少ない。
- ④ 老後に必要な資金：9,000万円－6,000万円＝3,000万円



A太

「大企業勤務の人は退職金も高額だから、老後資金3,000万円もなんとかなりそうだけど、今増えている非正規の人だと、受給できる年金額も少ないだろうし、大変だよなあ。」



B子

「モデル世帯は妻が専業主婦のものが多くけど、今は働く女性も増えているから、これからはどうなるのかしら？ 年金の支給開始年齢も段階的に引き上げられるって勉強したし…」



C男

「モデル世帯の受取額は、平成26年は22.7万円とされているけど、前年が23.1万円だから、この1年だけでもずいぶん減っているんだな。マクロ経済スライドが発動されたらさらに下がるのかな…？」



D美

「老後資金として足りない額は、定年後も働かなきゃってことね。だから、政府は『高齢者雇用安定法』の改正で、高齢者雇用に力を入れているわけね。」

4. 社労士絡みの記事・データを意識しながら学習を進める

社労士試験の勉強は暗記事項が大変多く、ともすると単調な学習に陥りがちです。ですが、せっかく時間を費やすのであれば、単なる条文のマル暗記ではなく、社労士関連の記事に目を通すときには、その内容を正確につかんで、家族や友人に語るができるようになりたいものです。

将来、あなたが社労士の業務を行うにあたり、年金制度に関する執筆や講演の依頼が来るかもしれません。確かに、国民年金法や厚生年金保険法の知識があれば年金額を計算することはできますが、それだけでは執筆・講演等の仕事をこなすことはできません。制度の理解を土台として、講演の趣旨やテーマに添った形で内容を組み立て、根拠となる数値や統計を様々ある白書や統計資料の中からいかに的確に拾い上げることができるかが勝負となります。

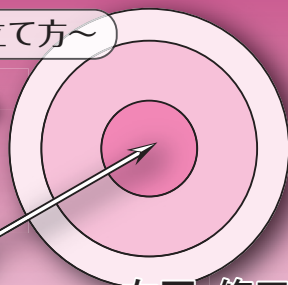
また、社労士試験の学習の締めくくりは「白書対策」になりますが、少しずつ時事問題への関心を高めれば、直前期にあわてることなく取り組むことができるでしょう。

学習に煮詰まったときこそ、将来、社労士としてやりたいこと、やってみたいことを考えてみてください。年金科目だけでなく、仮に、特定社会保険労務士として労働問題に力を注ぎたいと考えていらっしゃる方であれば、より一層、労働基準法や労働関連法規の学習に興味が出てくるのではないのでしょうか。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ

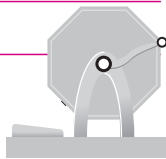


第8回 上げる!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

「7.0%」「5.4%」「9.3%」…この数字に見覚えはありませんか? —そうです。これは、直近3年間の社労士試験の合格率です。「年度によって随分差が出るんだな」と思われる方や、「9.3%だった去年は受かりやすかったはずなのに、惜しいことをしたな…」と感じる方もいらっしゃると思います。今号は、合格する“確率”をテーマに、話を進めていきたいと思います。

1. 3つの要素



本題に入る前に、多くの人に馴染み深い「福引」を例に挙げてみます。

A商店では、年末恒例の(右イラストのような)福引で、『2個のうち1個(50%)当たる抽選会』を実施しています。一方、近くにあるB商店のほうは、『4個のうち1個(25%)当たる福引』を実施しています。皆さんが、どちらの商店でも使用できる福引券を1枚だけ持っているとしたら、どちらの店を選びますか。

仮に、どちらも同じ景品であれば、当然、当たる確率の高いA商店を選ぶことになるでしょう。

ところが、A商店の景品が「500円相当」の商品であるのに対し、B商店は「5,000円相当」であったとしたら、話は変わってきますよね…。もちろん、やはり確率重視でA商店を選ぶ人もいますが、多くの方は、B商店のほうを選ぶのではないのでしょうか。

では、今度は、A商店の景品である「500円相当」の商品は自分にとって必要なもの(たとえば、生活必需品など)であり、B商店の「5,000円相当」は、自分にとっては価値がない物(アルコールをまったく飲まない人にとっての「お酒」など)であった場合はどうでしょうか。

—このケースであれば、B商店を選ぶ人はかなり少なくなると考えられます。たとえ市場では「5,000円相当」の価値があったとしても、自分自身にとって無価値(0円)なものを欲する人が多数いるとは思えません。なお、当選した景品をオークションに出品したり、誰かにプレゼントしたりすればよいと考えるかもしれませんが、話の展開上、譲渡や転売はできないものとし(社労士資格は、譲渡・転売ができないため)。

この福引の例からわかることは、どこで福引をするかを選択するに当たっては、「当たる確率」「市場における価値」「自分にとっての価値」の3つの要素が絡み合っているという点です。この3つを社労士試験(資格・実務)に当てはめて考えていきましょう。

2. 社労士試験の「当たる確率」

福引に当選する確率は、「運」という要素だけに左右され、これは福引に参加するすべての人に共通です。ところが、社労士試験に合格する確率は、すべての受験生に共通とは言えません。個々の受験生ごとに、習得した知識量や学習してきた時間に比例して、合格する確率は高くなります。

ただし、どんなにがんばって勉強したとしても『合格する確率』が100%(必ず合格する)になることはあり得ませんし、本試験に向けて勉強している以上、0%(絶対合格できない)になることもあり得ません。そこには、少なからず運の要素も加わるからです。

つまり、『合格する確率』は、次の算式で考えることができると考えられます。

<p>・合格する確率 = 「学習時間^①」 × 「学習範囲^②」 × 「学習方法^③」 ± 「運^④」</p> <p>①「学習時間」…通常、学習時間が長ければ長いほど、習得する知識量は増えるため、勉強した時間に比例して合格する確率は高まります。</p> <p>②「学習範囲」…どんなに学習時間を確保しても、学習科目に偏りがあると苦手科目に足を引っ張られ、また、出題確率の低い箇所時間に割いても、得点は伸びず、合格する確率は下がります。</p> <p>③「学習方法」…時間を十分確保し、万遍なく学習したとしても、自分に適したやり方かどうか、効率性の有無などによって、知識の定着に差が付きます。</p> <p>④「運」…本試験当日の体調や思わぬアクシデントなど、①～③以外の要素が加わります。</p>
--

実際のところ、第45回(合格率5.4%)と第46回(合格率9.3%)の本試験問題を比べてみると、択一式においては難易度に大差はありません。つまり、過去の試験合格率や、皆さんが受験される今年の合格率を意識することよりも、“皆さん自身の合格率”を上げる努力をすることのほうが大切です。

そして、“皆さん自身の合格率”を上げるためには、上記算式の各項目に当てはめて、①今後、どの程度の学習時間を確保すべきか、②苦手科目・分野をどう克服していくのか、③インプットやアウトプットのバランスは取れているか、選択式対策・択一式対策の学習比率はどうか、など、今のうちに確認しておきましょう。上手く機能していない面があるのであ

れば早期に修正を施し、対策を講じる必要があります。

3. 社労士実務の「市場における価値」

仮に、試験に合格しても、社労士として活躍できる場がないのであれば、誰も資格取得を目指そうとは思わないでしょう。

しかし、非正規労働者の増加やブラック企業の問題など「労働分野」がクローズアップされ、また、消費増税を巡り「年金・医療・介護等の社会保障制度」が活発に議論されているなど、かつてないほど、労働および社会保険分野が注目されています。

また、従来の独占業務だけでなく、「メンタルヘルス」や「ハラスメント」対策など、社会や企業が抱える問題を考慮すると、社労士が活躍できる場は広がりがつあります。

4. 社労士資格の「自分にとっての価値」

冒頭の福引の例でも触れましたが、世間一般はどようであれ、自分自身が価値を見出していなければその景品を欲しいとは思わないでしょう。つまり、何かに挑戦する場合、目標を達成することによって得られるリターンが「自分にとって」大きいかが焦点になります。

数年前の受験生（当時50歳代）で「定年後を考えると、予想よりも退職金や企業年金が少ないようなので、引退後も続けられる仕事がしたい」という受験動機の方がいらっしゃいました。確かに、いわゆる土業には「定年」はありません。働く意思さえあれば、そして受け入れてくれる市場があれば、いつまでも働くことができます。

この受験生は、現在は、ご自身が培ってきた社会経験をもとに、開業社労士として、高齢者雇用問題を中心にコンサルタント業務を行っています。この方にとっての社労士資格は、自分の夢を実現するために不可欠な「非常に価値の高いもの」だったわけです。

ちなみに、高齢者問題に関しては、公的年金を頼りにする人が多いにもかかわらず、我が国の年金制度は、諸外国と比べると未熟な面が多いようです。

組織・人事分野専門のコンサルティング会社マーサー・ジャパンは、昨年「2014年度グローバル年金指数ランキング」を発表しました。このランキングは各国の年金制度を指数化して比較したもので、それによると日本は25カ国中23位と惨憺たるものでした（右上の図表参照）。

老後の生活設計を考えた場合、日本の公的年金制度における給付水準は年々引き下げられており、公的年金だけで生活していくことは難しい状況です。

そうすると、本誌4月号でも触れましたように、ゆとりある老後のためには、①若いうちから資産形成に努めること（ストックの確保）、②定年退職後も仕事を続けることを前提とすること（フローの維持および継続）が大切かと思われます。

(図表) マーサー・メルボルン・グローバル年金指数(2014)

総合指数によるランキング			各項目の指数		
ランキング	国名	総合指数	十分性	持続性	健全性
1	デンマーク	82.4	77.5	86.5	84.5
2	オーストラリア	79.9	81.2	73.0	87.8
3	オランダ	79.2	75.3	76.3	89.4
23	日本	44.4	48.0	28.5	60.9

※年金指数は「十分性」「持続性」「健全性」の3つのポイントで算出される。「十分性」はもらえる年金額は十分かどうか、「持続性」は人口推移や平均寿命のバランスとの関係で持続可能なものか、「健全性」は年金制度をうまく運用するための見直し機能や透明性が担保されているか、ということ意味する。なお、「総合指数」は、「十分性」が40%、「持続性」が35%、「健全性」が25%の割合で算出している。

(マーサー・ジャパン(株) HPより抜粋・改編)

5. 実力で引き上げる「合格率」!

最後に、宝くじを例に考えていきましょう。

年5回実施されるジャンボ宝くじの1等の当選確率は1,000万分の1と言われています。これは、米俵4俵分のお米の中に、1粒だけ赤い色で塗られた米があった場合に、その4俵分のお米を全部ばらまき、目をつむって1粒だけつまめるとしたときに赤い米をつかむ確率と同じです（米俵1俵あたり、米約250万粒であるため、4俵で約1,000万粒となる）。

まるで気の遠くなるような数字です。自動車事故で死亡する確率よりも断然低く、雷に撃たれる確率と同じ程度（保険業界では、保険料を決める際の基となる危険な目に遭う確率について、自動車事故で死亡する確率を約1万分の1と、雷に撃たれる確率を約1,000万分の1としています）と言われています。

また、宝くじ公式サイトによると、配当率（当選金として当選者に支払われる金額の割合）は約47%ですから、他のギャンブルと比較しても、還元率が非常に低く、個人的には、（現状の日本の宝くじのシステムは）やや魅力が乏しいように思われます。もちろん、宝くじの収益金を活用して様々な社会事業も行われていますから、宝くじに価値を感じるかは人それぞれです。

いずれにせよ、運だけに左右される「福引」や「宝くじ」に比べ、社労士試験に合格する確率は、皆さんの努力次第で引き上げることが可能です。

また、「福引」「宝くじ」は、当選品（景品や賞金等）をもらってしまえばそれで終わりですが、社労士資格は一生有効なものであり、実力次第で大きなリターンを生み出すことができるでしょう。

社労士試験の受験生は年齢の高い方や女性も多く、そういう意味では、年齢・性別を問わず、幅広い層の方が「社労士資格の価値」を見出しているわけです。

厳しい受験勉強で息切れしそうなときこそ、自分にとっての資格の価値・資格の活かし方を、ぜひ考えてみてください。

働きながら

勉強する人のための 合格ナビ



第9回 克服する!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

今号で社労士試験範囲の学習が一通り終了したわけですが、今後の対策は万全ですか？「若い頃は記憶力が良かったんだけど…」とか、「定時に会社をあげられる人はいいいよな。」と、つつい他人をうらやんでしまいがちですが、あなたよりももっと過酷な状況乗り越えて、合格している人がいるかもしれません。今回は、身体的なハンディがありながら、すばらしい成績を残した3人のスポーツ選手を取り上げます。ぜひ、ハンディを感じさせない3名のアスリートのエピソードを、皆さんのモチベーションアップにつなげてください。

1. 69連勝を成し遂げた「昭和の大横綱」 〈双葉山（相撲）〉

最初は相撲の双葉山です。ご存知の方も多いと思いますが、双葉山は角界で未だに破られていない69連勝という前人未到の大記録を成し遂げた「昭和の大横綱」であり、まさに古今屈指の強豪力士です。

双葉山は、ただ成果を残しただけではなく、相撲の立ち合いにおいて1度も「待った(※1)」をしなかったといわれています。相手が立てばいつでも立ち、相手を受けて立つ姿勢は、一見、相手に遅れを取っているように見えても、組んだときにはすでに先手を取っており、「後の先(※2)」と呼ばれています。

「力水(※3)を1度しかつけない」のも双葉山から始まったといわれています。これは双葉山自身が無駄な動作を嫌い、土俵上で短時間に集中力を高めたためですが、こうした土俵態度も今日まで力士の模範とされ、相撲に取り組む厳しい姿勢は今や伝説となっています。

このような大記録や伝説を残した双葉山ですが、実は5歳の時、吹き矢が自身の右目に直撃し、その時から右目はほとんど見えない状態でした。しかし、双葉山は現役時代、そのことを誰にも悟られぬようにして土俵人生を全うしています。さらに、11歳の頃には父親の家業（海運業）の手伝い(※4)をす

る際、右手小指の一部をウィンチに巻き込みつぶしてしまうというアクシデントにも見舞われています。

右目がほとんど見えないということは、遠近感がないことを意味します。また、取組みの際、見えない右側に回られると相手を視覚から見失いかねません。さらに、右手の小指がないということは、回しに差し込む指が1本少ないこととなりますから、この点でも不利といえます。

ところが、その2つのハンディにも関わらず、人一倍稽古に励んで成し遂げたのが69連勝という大記録でした。双葉山の強さは、技術や肉体だけではなく、精神面から鍛え上げたものだったようです。とにかく稽古熱心なことで有名でした。午前4時から稽古を始めたため、「早すぎて眠れない」と親方から叱られたほどでした。

こうした双葉山の真面目で練習熱心なところが気に入らなかったのか、部屋では連日兄弟子から“可愛がり”を受けました。例えば石を盛ったバケツを持っての200回の屈伸を終えた後、兄弟子たちのぶつかり稽古の格好の標的となるなど、可愛がられるほど稽古量が増えていきました。しかし、幼少時から父親の仕事を手伝い、船上で重労働に耐えてきた双葉山にとって、こうした稽古はきついものではなく、むしろ兄弟子からのイジメに耐えることで、さらに強くなっていったということです。

(※1)	待った(まった)とは、勝負事において、相手の行動に対して満足な状況でないことによりやり直しを要求する状態である。相撲用語では、やむを得ない理由で勝負開始前、あるいは途中で止める際のかけ声であり、またその止める行為そのものを意味する。(Wikipediaより)
(※2)	後の先(ごのせん)とは、双葉山が得意とした理想の立ち合い。相手より一瞬あとに立ちながら、あたり合ったあたりには先をとっている相撲の立ち合い。出足が本物なら、一瞬先に立った相手に対して、遅れて立ったほうが低い角度で入ることができる。(「ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典の解説」より)
(※3)	力水(ちからみず)とは、大相撲における儀式の1つで、力士が土俵に上がったときに他の力士から渡される清めの水で、神聖な土俵に上がる時に身を清めるために使われる。(Wikipediaより)
(※4)	父親が営む海運業が失敗して5,000円(現在の2億5000万円に相当する)の借金を負い、兄と妹と母親も早くに亡くしている事情から、次男坊でありながらも一家の家計を支えるべく父の手伝いをしながら育つ環境でもあり、父親の船の仕事を手伝うことで強靱な足腰とバランス感覚を身につけ、それが横綱への土台となったといわれる。(Wikipediaより筆者改編)

2. 次々と世界記録を樹立した「フジヤマのトビウオ」〈古橋廣之進（水泳）〉

2人目は、第二次世界大戦終了後の水泳界で次々

と世界記録を打ち立てて「フジヤマのトビウオ」の異名を取った古橋廣之進です。

12歳で100m、200m自由形の学童日本新記録を打ち立て、1947年には未公認ながら400m自由形で世

界新記録を出します。第2次世界大戦後の日本は国際水泳連盟への復帰が許されず、1948年のロンドン・オリンピックに参加できませんでしたが、同時期に開かれた日本選手権の1,500m自由形では18分37秒0の世界新を樹立します。それに対しロンドン・オリンピックのマクレーン（米国）の優勝タイムは19分18秒5でしたから、その優勝記録をはるかにしのぐ記録でした。

翌49年、国際水泳連盟復帰が許された直後の8月には、古橋はロサンゼルス全米選手権に招待され、400、800、1,500m自由形、800mリレーの4種目に世界新で優勝し、米国の新聞に「フジヤマのトビウオ」と謳われました。現役中に更新した世界記録は33回に上り、戦後間もない日本に希望を与える国民的英雄でもありました。

その古橋は、学徒勤労動員(※5)により砲弾工場で作業していた際に旋盤に左手の中指を挟まれ第一関節から先を切断するという事故に遭っています。

(※5)	学徒勤労動員とは、第二次世界大戦末期の1943年（昭和18年）以降に深刻な労働力不足を補うために、中等学校以上の生徒や学生が軍需産業や食料生産に動員されたことである。（Wikipediaより）
(※6)	橋爪は古橋と同じ日本大学卒であり、11回も世界記録を更新したが、すべて古橋に続く2位であり、古橋の陰に隠れる存在であった。（Wikipediaより）

3. 右手がないメジャーリーガー 〈ジム・アボット（野球）〉

ジム・アボットは「幼い頃から右手がない」というハンディキャップを乗り越え、ピッチャーとしてメジャーリーグで大活躍した名選手です。

1967年、ミシガン州で産声を上げたアボットは、右手の手首から先がないという障害を持って生まれました。小さい頃から野球が好きだった彼でしたが、野球をする際に問題となるのは、ボールを投げる左手にグラブをはめないといけないう点です。

そこで、父親とともに試行錯誤をした結果、手首のない右手に右利き用のグラブを乗せて投球し、ボールが来たらすかさず左手にグラブをはめて捕球し、さらにグラブを外して送球するという技術を身につけました。

この動作を気が遠くなるほどの時間を掛けて練習し、障害のない子供たちと遜色のないフィールディングを身につけるまでに至ります。また、バッティングに関しても、右手を添えて打ち、少しもハンディを感じさせませんでした。

(※7)	ノーヒット・ノーランとは、野球で投手が1試合を通して相手チームを無安打・無得点に抑えること。（コトバンクより）
------	---

4. ハンディは「学習時間」「学習方法」 「強い意志の力」で克服

いかがでしたでしょうか。こういう話を聞くと、「自分も頑張らないと！」と奮起しませんか。

今回取り上げた3名に共通することは、人並み以上の練習でハンディをカバーしていることです。スポーツにおける「練習時間」は、社労士受験生にとっては「学習時間」に当たり、「練習方法」は「学習

水泳は、腕で水をかくことが最大の推進力になりますから、腕が長かったり、手の甲や指が長くて大きいほうが有利になります。反対に言えば、中指がないということは、指と指の間からキャッチした水が逃げってしまうため、これは大きなハンディといえます。もし仮に、指と指の間にカエルのような膜（いわゆる「水かき」）を人工的に作れたら、すぐにでも世界記録を塗り替えることができるといわれていますから、逆に、指が欠けているということ自体、いかに推進力にとってマイナスかということになります。

古橋は、事故に遭った頃は「もう泳げない」とかなり落胆していたものの、そんなハンディをものともせず、それを乗り越える努力で世界記録をつかみました。同期の橋爪四郎(※6)というライバルの存在も大きかったようです。古橋や橋爪の通っていた日本大学のプールは、当時、24時間、誰かが泳いでいたといわれるほど、切磋琢磨し練習に取り組んでいたことが伺えます。

高校時代に、対戦相手が「すべてピッチャー前のバント攻撃」でアボットの弱点を突こうとしましたが、これらのゴロをすべて処理してアウトにした逸話があるほどです。彼は他の投手の比較にならないほどのフィールディングの技術を有していたことになりました。

メジャーリーグでは、当初、エンゼルスに在籍し、1年目は12勝12敗、防御率3.92をマークし、1991年には18勝11敗、防御率2.89、翌92年には7勝15敗ながら防御率2.77という好成績を収めました。1993年には、交換トレードでニューヨーク・ヤンキースに移籍します。この年の対インディアンズ戦では、ヤンキースにとって10年ぶりのノーヒット・ノーラン(※7)を達成しました。このノーヒット・ノーランはメジャー史上、最も価値のあるノーヒット・ノーランといわれているようです。

アボットは、1998年に引退するまでに87勝まで勝ち星を伸ばし、惜しまれながらメジャーリーグを去っていきました。アボットが先発する試合には大勢の障害を持った子供たちが観戦に訪れたそうです。障害のない他の選手と少しも変わらない、実力で地位を掴み取った誰もが認めるメジャーリーガーでした。

方法」に当たります。

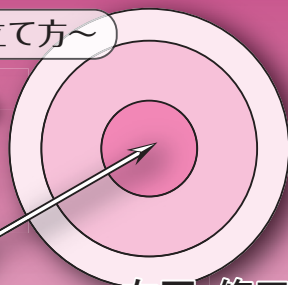
実は「私は××というハンディがあるから…」と思っていること自体、すでに自分に負けてしまっています。また、合格できなかったときの言い訳にすることもなりかねません。

たとえご自身の置かれた環境や身体・能力等にハンディがあったとしても、学習時間や学習方法、そして強い意志の力でカバーできるよう、考えてみてはいかがでしょうか。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第10回 制す!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

「慶長5年(1600年)9月15日、朝もやが晴れると美濃国関ヶ原に銃声が響きわたった。天下分け目の合戦の始まりである。〔大関ヶ原展〕(※1)ホームページより)——この戦を「天下分け目の関ヶ原」と言いますが、皆さんにとっての「天下分け目」と言えば、8月23日(日)の社労士試験ではないでしょうか。

皆さんもご存知の通り、関ヶ原の戦いと言えば、豊臣秀吉亡きあと、徳川家康率いる東軍と石田三成が指揮する西軍が激突した戦いです。関ヶ原に集結した両軍の総勢は約17万人と言われる大合戦であったにもかかわらず、たった1日で終えた(朝8時に決戦の火ぶたが切られ、午後4時には終結を迎えた)ことも、社労士本試験の時間帯とちょうど重なっている気がしてなりません。今回は、関ヶ原の戦いになぞらえて、徳川家康から読み解く天下分け目の社労士試験の対処法を考えていきます。

※1 徳川家康没後400年記念特別展として、江戸東京博物館を皮切りに、京都文化博物館、福岡市博物館で「大関ヶ原展」が開催されている。関ヶ原で戦った武将のゆかりの品々(家康や徳川四天王の具足や槍、三成の愛刀など)が展示されている。

1. 関ヶ原の戦いとは

関ヶ原の戦いとは、どのような戦いだったのでしょうか。

豊臣秀吉亡きあと、諸将の思惑が入り乱れ、徳川家康率いる東軍(主に戦場での戦いを得意とする武断(武功)派(軍事大名)が多く集結)と、石田三成率いる西軍(文治(吏僚)派(豊臣政権時に実務官僚として秀吉に仕えた大名)を中心に結束)との一大決戦が関ヶ原の戦いですが、参戦武将が多い分だけ、様々な人間模様が見られます。

まず、勝敗を左右することになった小早川秀秋の裏切りが真っ先に挙げられるでしょう。

小早川秀秋は、西軍(三成軍)の一員として1万5,000の大部隊で布陣していましたが、家康に内応していたにもかかわらず、戦場にあっても腹を決めかね、迷って動けぬままでいました。ところが、東軍から鉄砲を打ちかけられるとその挑発に怖じ気づき、ついに西軍を裏切って反旗を翻すこととなります。味方であるはずの大谷吉継(西軍)に軍勢を向けると、大谷隊は孤軍奮闘したものの多勢に無勢で玉砕します。陣形で圧倒的有利と思われた西軍(※2)でしたが、この裏切りで他の隊の裏切りも呼び、これを境に大混乱に陥り敗退します。これにより「戦国でもっとも長い一日」が終焉をむかえることとなります。

※2 家康の別働隊として兵力3万8,000を分け与えられ、中山道を進んだ秀忠(家康の嫡子)は信濃(上田城)で真田昌幸の抵抗にあい、戦場に間に合わないという大失態を演じ、日頃、滅多に感情を表に出さない家康が、珍しく怒りをあらわにしたことも有名なエピソードである。これだけの兵が合戦に間に合わないということになれば、関ヶ原で高所(山の斜面)に陣取り、東軍を囲い込むように布陣した西軍が陣形的に有利となり、万一、小早川の裏切りがなければ東軍が敗北していたかもしれないことを考え合わせると、家康の怒りの深さがうかがい知れる。

2. 関ヶ原の戦いは心理戦

このように小早川秀秋の裏切りが勝利の行方を左右したわけですが、大関ヶ原展に足を運ぶと、水面下でやりとりされた密書が展示されています。有力武将たちがしたための文書には、「信頼」「裏切り」「凋落」などを読み取ることができ、当時のスリリングな情報戦が浮かび上がってきます。

西軍に属しているものの石田三成のことを良く思っていなかった武将(※3)や、東軍に属しているものの戦況次第では寝返りをするのではないかと考えられていた武将もいたようです。東軍が勝った要因は、武将それぞれの思惑が入り乱れている状態(心理戦)を家康が巧みに利用したことが挙げられます。

※3 豊臣政権の中で三成は、武将としての働き以上に実務官僚として政務を執行する側面が強く、秀吉の知恵袋的な存在でもあった。それが加藤清正や福島正則らの武断(武功)派の諸将には鼻持ちならなかったようである。小早川秀秋の裏切りに関しても、豊臣政権時に「三成が秀吉に報告にしたことにより大幅な減封を受けた」など、三成への私怨も1つの要因であったとされる。

3. 関ヶ原の戦いから読み取れること

関ヶ原の戦いでは、九州の島津義弘は西軍に属していたものの不動の姿勢を貫き、西軍の敗北が明らかになると、生き延びるためわずかな将兵で敵中の真っ直中をひた走り、まっしぐらに南下して伊勢路に入り、船で薩摩へ帰還したと伝えられています。

このように関ヶ原に西軍として出向いたものの東軍に内通して動かない勢力(たとえば、吉川広家)や、三成が西軍有利とみて「全軍総攻撃」のろしを上げるも吉川広家に行く手を阻まれ参戦できなかった武将(たとえば、毛利秀元、長宗我部盛親)がいることなど、事前の策により東軍に有利に展開することができたことも勝敗を分けた要

因でした。逆に、家康は関ヶ原の戦いの直前に黒田長政や福島正則などの主要な武将との結束を固め、士気を高めることに成功しています。固い絆で結ばれた家康の直臣（徳川四天王（※4））も、家康を支える力強い存在でした。

社労士試験を迎えるにあたって、味方との意思疎通を図り、自分にとって影響力がある人を敵に回さないように配慮することが肝心です。この場合の味方とは、自分のことを“応援してくれる家族や友人”（家康を例にすると、徳川四天王が家族であり、黒田長政や福島正則らが友人となります）であり、味方にはならずとも敵に回さないようにしなければならない人とは、“仕事上の上司・同僚・部下やお客様”（関ヶ原の戦いで言えば、戦場に出向いたものの動かなかった吉川広家、関ヶ原では戦わずに退却せざるを得なかった毛利秀元、長宗我部盛親などです）と考えることができると思います。

皆さんは、勉強する環境や食事等に気を配ってくれる家族がいるおかげで、学習に集中して取り組むことができます。安心して体調管理にも気を遣えます。試験直前の夏場は勉強漬けでやりたいことも我慢しなければならない辛い時期ではありますが、同時にあなたを支えてくれている家族も相応の我慢をしているはずですよ。本試験の前には、日頃から支えてくれている人に、感謝の気持ちを伝えましょう。大関ヶ原展では、「関ヶ原合戦前に家康が黒田長政の活躍を期待して贈った兜」が展示されていますが、そういう1つひとつの味方への気遣いが東軍の武将の活躍につながり、天下分け目の戦いに勝利できたともいえます。（※5）

また、逆に、試験前に仕事上の悩みを抱えてしまうと、集中して学習に取り組むことが困難になってしまいます。たとえば、お客様とのトラブルが生じてしまうと、通常業務に加えてクレーム処理のために時間を費やさなければならなくなるため、その分、勉強する時間が失われます。クレームの電話やメールを受けるだけでも、精神的な負担をしょい込むことになり、試験を受ける気力が失われてしまうことも考えられ、試験結果に重大な影響を及ぼしかねません。本試験が近づいてくると、試験のことばかりが気になり、業務に身が入らなかったり、夏バテ等により仕事で凡ミスをしてしまうことが考えられますが、業務時間には業務だけに気持ちを集中させて、試験勉強以外の要因で足を引っ張られることがないように気を付けるべきでしょう。

※4 徳川四天王とは、徳川家康の側近として功績を立てた酒井忠次・本多忠勝・榊原康政・井伊直政の4人の武将を顕彰した呼称。

※5 黒田長政は、西軍の主力石田三成隊を撃破するだけでなく、事前の調略により毛利軍の不戦や小早川秀秋の寝返りをお膳立てし、東軍の勝利に多大な貢献をした。

4. 我慢を重ねた家康の生き様

織田信長・豊臣秀吉・徳川家康という戦国の三傑の中では、総じて家康の人气が低いようです。「織田が掲げ 羽柴（※6）がこねし天下餅 座りしままに 食うは徳川」とされ、天下統一の基礎は信

長が作り、それを継承した秀吉が体制を整え、家康は成果の美味しいところを策略で労せず手に入れたと理解されているからでしょう。

ところが、家康の天下取りは、この歌のようになまやさしいものではありませんでした。弱小な一地方豪族であった松平家の長男に生まれた竹千代（後の家康）は、当時、織田家、今川家という強大な戦国大名に扶まれ、3歳で母と生き別れ、6歳から織田家、その後に今川家の人質となります。人質のまま14歳で元服し、松平元信（※7）となりますが、合戦では常に危険な先鋒役を命じられます。1560年、桶狭間の戦いで今川義元が織田信長に討たれると、小国ながらも三河の戦国大名として自立します。

その後、家康は織田信長と同盟を組み、着実に足場を固めていきますが、正室（築山殿）の裏切りによって長男・信康に切腹を命じざるを得なくなってしまうことや、本能寺の変とその後の伊賀越え（※8）、豊臣秀吉の台頭など、苦難に次々と見舞われます。それを乗り越え、関ヶ原の戦いに勝利したのち、260年存続した江戸幕府を開くに至っています。

※6 秀吉は初めは木下を名字としていたが、その後、羽柴に改め、最終的には豊臣と名乗った。

※7 今川義元の一字を賜り、元信（後に元康）と名乗る。義元から将来を期待されていたことは、義元の姪（築山殿）をめとったことでもわかる。もし、桶狭間の戦いがなかったならば、家康は今川家の有能な家臣として終わっていたかもしれない。

※8 本能寺の変の直後、大阪に滞在していた徳川家康が明智光秀の軍や混乱に乗じた落ち武者狩りなどとの遭遇を回避するために、伊賀の険しい山道を経て岡崎城へ帰還したこと。当時、家康に随行していた者は、僅か34名であり、徳川四天王をはじめとする徳川家の重鎮が揃っており、光秀の配下や一揆等に襲われていたら徳川家への大打撃は必至であった。家康は本能寺の変の報に接した際、取り乱し、一度は「自刃する」ことを決意したが、本多忠勝を始めとする部下達に説得され、自国の三河へ戻ることとした。

5. 家康と重ね合わせる

家康は、信長ほど天才的な発想もなく、秀吉ほど天性の人間的魅力のない、平凡な資質であったと言われています。その家康が、律儀さと家臣団との強い絆の上に、我慢を重ねてついに太平の世を開いた姿は、胸を打たれるものがあります。

本誌を購読されている皆さんの多くは、自分のことを天才的な発想もなく、天性の人間的魅力もない、平凡な資質の人間だと思っているのではないのでしょうか。そんな資質の家康が長期政権となる徳川幕府を作っています。我慢を重ね、あきらめずに道を進むことで、家康のように天下分け目の戦い（＝社労士試験）に勝てる（＝合格する）ことができるのではないのでしょうか。もちろん、天下分け目の戦いの日（＝8月23日）までに兵力を整える（＝学習に励む）ことが絶対条件ではありますが…。

「日本の運命を変えた1日」と言われた関ヶ原の戦いですが、皆さんにとっては、社労士本試験が実施される8月23日を「私の運命を変えた1日」だったと後に言えるようがんばってください。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



第11回 臨む!

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

“ピリギヤル”をご存知ですか？ 学年でピリだったギヤルが1人の塾講師と出会い、1年強で偏差値を40上げて、慶應義塾大学に合格した奇跡のサクセスストーリーで、塾講師の著者が書いた『学年ピリのギヤルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』（坪田信貴著，KADOKAWA，2013.12）は、文庫特別版と合わせて100万部を超える大ベストセラー（※1）になっています。5月には有村架純主演の映画『ピリギヤル』が公開され、注目度がさらに高まっているようです。

そうはいっても何かと批判も多い（※2）“ピリギヤル”ですが、そこから得られる情報や考え方には、社労士本試験の直前の追い込みの学習に役立つこともありそうです。今回は、主人公である“ピリギヤル”（こと、さやかちゃん）の単行本に書かれている文面をピックアップし、社労士試験の直前対策に結び付けていきたいと思います。

※1 2013年12月の発売以来、本書と文庫特別版（単行本に比べストーリーだけを拾っている特別版）の累計発行部数が100万部を突破した。また、ピリギヤルと母親が執筆した『ダメ親と呼ばれても学年ピリの3人の子を信じてどん底家族を再生させた母の話』（ああちゃん、さやか著，KADOKAWA，2015.2）も今年の2月に出版された。

※2 “ピリギヤル”の通っていた高校は、実は名門私立で中高一貫校のお嬢様で、あくまでも“進学校でピリ”なだけなのではないかということや、そもそも中学受験をしている以上、入塾前は小学4年レベルの学力であったと書かれていたこと自体、あり得ないのではないかなどの疑問が出されている。また、元々、塾費用など的高額のお金を用意できるお金持ちの家系ではないかとの指摘もあり、現在の日本の教育格差の話だとする見解もあるようだ。

1. 模試で合格の可能性は「Eランク（＝絶望的）」

この1年で、誰よりも勉強している自信があったのに。睡眠時間も限界まで削り、メンタルも限界に近かったのに。なのに、結果は「E＝絶望的」。

「難しすぎでしょ、慶應。無理じゃん、こんだけやってんのに。もうこれ以上は、無理だし」「私、そもそもなんで慶應に行きたいんだろ？ 明治とかでも十分なんじゃ…」

そしてついに彼女は、僕に、死んだような目を向け、ボソッと言いました。「やっぱり私、慶應は無理だと思う」（本書P.195より）

本試験前の6月・7月には、受験団体が実施する模試を受ける受験生も多いと思います。そんな時、かなりがんばっているのに結果が思わしくない（全く歯が立たずランクは最低のE判定）こともあるかもしれません。

理由はいろいろあることと思いますが、大きく次の4つに集約されると思われます。

- ①実力はあるが、「多量速答・長時間」という択一式試験の特徴に慣れていない
- ②実力があるのに体調が悪かったり緊張したりして、試験会場の雰囲気になれずにミスを連発
- ③自分でも頑張っているが周りも伸びているために、相対的にEランクになってしまった
- ④本当の実力不足、学習量（学習時間）不足

①は、実力はあるにもかかわらず、本試験の択一式70問という問題量に飲まれてしまって、精神的・体力的に持たなかったケースです。今までは、科目ごとに時間を区切って学習することができましたが、本試験は3時間半ですべての科目に目を通し

ていかなければなりません。したがって、本試験前にはその状況を体感し、慣れておく必要があります。

また、本試験は、問題処理能力の高い人（＝解答スピードが速い人）が有利になります。時間をかけて熟考するタイプの人には問題量に圧倒されて、力を発揮できない傾向があります。

②は、前日に残業があって疲れていたり、いつもと学習環境が違ったりして、集中力が途切れてしまい、ミスを連発…その結果、実力を発揮できなかったというケースです。

例えば、会場に試験開始時刻ぎりぎりに着いて、落ち着く間もなく試験開始になってしまって、最後までしっかりと解くことができなかったことや、エアコンの風が直接当たってしまって、気が付いたら寒くて見直しどころではなかったことなど、よくあることです。それこそ、本試験に向けてどういうことが起こり得るのかを知る貴重なチャンスととらえて、その対策を施せばよいでしょう。

③は、自分も頑張っているにもかかわらず、周囲がそれ以上伸びたため相対的に順位が下がってしまったケースです。人によって、学習が開花する時期はまちまちです。8月に入って急にブレイクする人もいますから、諦めてはいけません。

2. 有効だったストレス解消法

この時期のさやかちゃんに、僕はムチを入れながらも、もうひとつのストレス解消法を教えました。それは、「日記を書くこと」です。

今のままだと、さやかちゃんはストレスに押しつぶされてしまう。しかし、あまりに愚痴を言うと、周囲

の人の関係が悪くなってしまう。そこで僕が提案したのは「日記を書くこと」でした。

また、どうしても周囲の人とぎくしゃくするようなら、その人の良いところを10個書くように、とアドバイスしたのもこの頃の事です。(本書P.210より)

私自身は日記を付ける習慣がないので、それがストレス解消になるかどうかはよくわかりません。ただ、文章にすることによって気持ちが和らぐこともあるようです。

ただし、ここには「周囲の人とぎくしゃくするようなら、その人の良いところを10個書く」とあるように、単に愚痴を書きなぐることではなさそうです。

成績がなかなか伸びない焦りや不安でストレスに押しつぶされそうになることは、多かれ少なかれ誰でもあることです。受験生から聞く限り、精神面から体調を崩してしまう人も例年、多く見受けられます。

自分にとってのストレス解消法を見つけておくことも、本試験を乗り切るために必要なことかもしれません。あなたのストレス解消法は何ですか？

3. ビリギャルのマークシート対策

そこで、僕は、その試験の2週間前から、「マーク式模試の解き方」のレクチャーをしました。具体的には、

- ①時間制限があるから、得点が高い大問から処理をしていくこと
- ②ケアレスミスを防ぐために消去法で選択肢を消していくこと
- ③設問の根拠には線を引いて、そこは精読をすること
- ④3分考えてわからなければ、その問題は飛ばすこと(本書P.190～191より)

解答の際に、問題を解いてマークシートに記入するまでの過程は人により様々です。ただ、自分なりの手順を事前に決めておくことは重要です。どの科目から解き、マークシートはどのタイミングで記入するのか(1問ごとか、科目ごとか、全部まとめて一気に記入するのかなど)、難問に当たった際の対処をどうするか(完全な解答を導き出すよう頑張るのか、仮決めて次へ進むのか、完全に飛ばすのかなど)、見直しの時間をどの程度取れるようにするのか(見直しをする時間が少なくなっても1科目1科目じっくり時間をかけて解いていくのか、見直しをする時間を確保するために、最初に問題に目を通す時間はあえて短くするのかなど)、などと対処の仕方を事前に考えておくべきことがたくさんあります。

これらのことは、いきなり本試験で実施するのではなく、模試で試しておくことをお勧めします。

4. 試験勉強は山登りと同じ

(お母さんとさやかちゃんの会話)

「さやちゃん。山登りって、どうやって登るの？ わかる？」「山のとっぺんを見て歩く」

「さやちゃん、それじゃすぐガケから落ちて、死んじゃうよ……あのね、山登りでは、ずうっと足元を見て歩かなきゃいけないんだよね。たまに、頂上を見て、あそこまでたどり着いたら、どんな風景が見えるだろうなって思いながら、また目を足元に戻して、また一歩、また一歩って歩いて行くだよね。足元しか見えないと、つらくて、悲しくて、つらくて、つらくて、しょうがないんだけど、そうして登っていくと、いつの間にか、思いがけず高いところまで登っていて、すごい風景が見えたりするんだよね。今は頂上にははるか先で、あんなとこ、行けないよ！ って思うけど、でも山登りって、一歩一歩しか進めないんだよね。」(本書P.206より)

どんな試験(勉強)も、一歩一歩、登っていくしかありません。楽な方法や近道はどうやらなさそうです。

ただ、登っていくうちに、目にする風景が次第に変わってきます。毎日の学習は、それを励みに、また登るという繰り返しかもしれません。

5. 受験前は楽しそうな時期がちょうどくる

ちょうどその頃、つまり秋口というのは、周りは文化祭で楽しそうな時期なのです。受験生には時間が惜しい時期ですが、学校は文化祭の季節となっています。(本書P.197より)

社労士試験も全く同じだと思います。本試験1週間前はお盆の時期で、通常、企業はお盆休みに入ります。試験がなければ家族旅行に行くことができるなど、本来、楽しみを満喫できる時期です。しかし、試験前でそれどころではありません。

「こんな夏は今年を最後にしたい。来年の夏は、思いっきり羽を伸ばすぞ！」…そういう気持ちで最終追い込みをしていきましょう。

6. 「あと1カ月あれば、準備万端だったのに」と思うと負け

やっていることは間違っていない。あとは、時間との勝負です。正直、すべての教科が「あとちょっと」という感じ。もう「一流」なんだけれど、「超一流」にはなりきれていない状態でした。(本書P.224より)

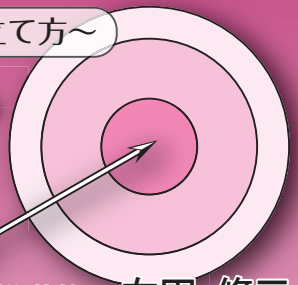
社労士本試験の場合も、「あと1カ月あれば、準備万端だったのに」と思う人が多いように思います。言い換えれば、そのラインまで来ている人は大勢いるということになります。択一式でいえば、合格ラインにわずか1点届かなかった人は、辰巳法律研究所『佐藤塾』の集計では、例年、全体の約5%に達しており、ボリュームゾーンになっています。これまでの水準に達しているのですから、頭一つ抜けば合格です。

本試験当日は万全の態勢で臨んでください。

働きながら

勉強する人のための

合格ナビ



最終回 仕上げる！

辰巳法律研究所『佐藤塾』 右田 修三

いよいよ本試験まで1カ月を切りました。

「模試を受けたけど、受けっぱなしで復習が追い付いていない。」「苦手な〇〇保険の底上げは必須。」「選択式対策を全くやっていないけれどいいのかな？」「過去問はもう一度、目を通しておきたいし…」「白書は全く自信がない。」などと、まだまだやらないといけない(やりたい)ことがたくさんある割には残された時間が少ないので、この時期になると、「何から手を付けたらよいか、わからない。」という人がたくさんいます。こういう場合、場当たりの学習をしてもうまくいきません。

直前期は焦りのあまりプレッシャーにつぶされそうになることもあるかと思いますが、そんな時こそ前向きな気持ちが大切です。「あと1カ月しかない！ どうしよう…」と考えると不安がより大きくなってしまいます。むしろ、「私にはまだ1カ月の時間がある。」と考えて、「残されたこの1カ月は、悔いを残さないようやれるだけのことをしよう。」と頑張ってください。考え次第でこれからの動きが全然違ってきます。そして、直前1カ月の学習次第で合格を勝ち取ることは十分可能です。

本試験直前の1カ月は、ほぼ合格できるであろう実力の持ち主(たとえば、模試でトップレベルの得点であった人)でも油断すれば不合格になる可能性がある一方、今のところ合格にほど遠い力量しか持ち合わせていない人(たとえば、模試で合格圏外の判定を受けた人)でも必死になって合格できるだけの実力に仕上げてきますから、どんな人にとっても直前期の学習は重要な意味合いを持ちます。

最終回の今回は、本試験に向けて、気に留めておいたほうがよいと思われる点を紹介していきます。

1. 本試験直前の学習

(1) 毎日、数科目に目を通す

基本的に、毎日数科目を学習するように心がけてください。たとえば、会社員の方で仕事がある日には、会社に着く前の朝の時間帯(行きの通勤時間帯等)で「労働基準法」、昼休みに「健康保険法」、仕事後の自宅に戻るまでの時間帯(帰りの通勤時間帯等)に「労働保険徴収法」、帰宅後に「国民年金法」などという予定を組めば、1日で4科目の学習ができます。仮に、1日1科目しか学習をしないことになると、1科目あたり10日に1回しか目を通すことができなくなります。それではせっかく勉強したことで、忘れてしまう可能性が高くなってしまいます。最終段階では、じっくり1つひとつの科目の学習を手掛けるよりも、時間を区切って、なるだけ多くの科目、より多くの範囲に目を通すように心がけてください。

(2) 新しいことには手を出さない

やらないとならないことがたくさんある割には、この時期に新たに予想問題等に手を出してしまう人がいます。受験生だった頃の私もどちらかというとその口でした。

私の場合は、8月になって、自宅でできる模試が5回分手に入ったので、それに飛びつき、最後の追い込みをかけようと思いました。

ところが、この模試が難問ぞろいだったのです。択一式のすべての科目で2～3点しか取れず、大きなショックを受けました。どんな問題だったかという、たとえば、国民年金法では、条文に『年金給付(付加年金を除く。』という表記がされている場合、問題文ではこのカッコ書きが意図的に削除されていて、『「カッコ書きが無い」ので誤り』というものでした(ちなみに、こういう問題は本試験では出題されません)。

このように、本試験が迫った直前期に、新しいテキストや問題集等に手を出すと、新たな不安を生み出すきっかけになってしまうことも考えられます。最終局面のこの時期は、今ある手持ちの教材の中で、何を取り上げて学習していくのかを考えてみてください。

(3) 解けなかった難問ばかりに時間を割かない

今までに解けなかった問題の復習は大切です。ただし、その1問を理解するのに時間をかけすぎるのは得策ではありません。

なぜかという、「解けなかった問題=難問」という可能性があるからです。社労士試験で大切なことは、基本問題を取りこぼさず確実に正解できるかどうかです。この時期、どうしても「より多くの知識を得たい」と考え、解けなかった問題を完璧に理解しておきたいと思いがちですが、基本問題も難問も同じ1点に変わりありません。

難しい問題は、理解するのに時間を要します。また、その問題が本試験に出題される確率も低く、そればかりに時間を費やすことは、出題されない箇所に時間を割いていることに他ならず、試験対策としては非効率になってしまいます。あえて見逃すことも場合によっては必要です。

(4) 横断学習で択一式の得点アップをねらう

複数科目にまたがる共通事項を整理しておきましょう。たとえば、「被保険者」「適用除外」「給付制限」「費用負担」「不服申立て」「時効」「届出」などです。このような横断学習をしておくと、択一式の点数が飛躍的に伸びることがあります。どうして得点が伸びるかというと、これらの問題が出たときに、迷わず正誤がわかるからです。要するに「気づき」が早くなって、1点を確保できるとともに、1問がいつも簡単に解答できると、リズムに乗って次の問題に取り掛かることができ、自分のペースで落ち着いて解答していくことができるようになります。

択一式の問題を解く時間の節約にもなることから、見直しの時間を確保することができ、得点アップのきっかけになります。

(5) 白書・統計数値対策は

例年、択一式の労働一般常識では、労働経済白書等の労働経済(統計数値)の問題が出題されています。労働経済は、全く見当がつかないような問題が出されることもあります。対策をある程度施していれば、5択から2択へと絞り込めたりして、意外と正解にたどりつくことがあります。

様々な数値や数字の増減が頻繁に出てきますが、それら全部を丸暗記する必要はありません。おおまかな傾向をつかんでおけば、正誤の判断が付くようになりますから、次のような点をポイントに、白書・統計数値等のテキストで確認しておきましょう。

- ①増加しているのか、減少しているのか？
特に、傾向や流れが変わった時は要注意。
- ②大台の数字に乗ったところは狙われやすい。
たとえば、平成26年の有効求人倍率は「1.09」である。前年(平成25年)は1倍未満であり、今回は1倍を超え、大台に乗っている。
- ③順番を押さえておく。
「〇〇が最も多く、次いで□□、△△の順になっている。」のような文章の場合、順番を入れ変えてくるケースが多い。
- ④企業規模や職業による違いはみられるかどうか？
たとえば、賃金形態(定額制)は、「月給」「時間給」「日給」「年俸制」の順で、「年俸制」を採

用する企業が最も少ない。しかし、企業規模が大きい1,000人以上規模企業、300～999人規模企業では、「月給」の次に「年俸制」が多い。

ただし、万全を期したいと考えて、労働経済にばかりに時間をかけて取り組むことはお薦めできません。範囲が広すぎるため、どれほど学習しても万全とは言いきれないからです。労働経済は、深入りしすぎず、確認する程度にとどめましょう。これらの数値は、早い時期に学習しても忘れてしまうことが多いため、直前期に時間を区切って確認しておくことが肝心です。

(6) 選択式対策

選択式の出題は、主として条文が挙げられますが、白書や計算問題なども考えられます。条文については、択一式対策の学習をしていく中で、選択式対策の7～8割はカバーできていると思われます。ただし、条文独特の表現がありますので、万全を施すのであれば、テキストで条文の読み込みをしておく必要があります。

その際、1つひとつの条文を片っ端から読み込んでも、条文の読み込みは、単調で飽きぐる学習のやり方とも言えますから、途中で断念してしまうことも考えられます。したがって、優先順位の高いものから目を通していききたいものです。

もし、優先順位がよくわからない場合には、次の3つの箇所を優先して読み込んでおくことをお薦めします。

- ①一般常識の各法令の第1条～第3条(目的条文や理念)
- ②健保・国年・厚年の費用負担を中心に給付より後半部分(出題頻度が比較的高い割には手薄になりがちのため。)
- ③安衛法は全部(抜かれた用語は世間一般の常識で考えても正解を導き出せないことが多いことや、安衛法は、同じ条文で2箇所抜かれることが考えられるため、目を通しておかないと2問とも失点してしまう可能性があるため。)

(7) 改正箇所を再確認

改正箇所は、出題頻度が高く、ねらわれやすいです。通常、他の受験生も対策を施しているために、ここでの失点は命取りになりかねません。

今年の改正事項を中心に、確認を怠らずに臨みましょう。

(8) 数値のチェックを忘れずに

基本事項の中でも得点につながりやすいものは各科目の数字です。たとえば、雇用保険法の所定

給付日数、健康保険法の高額療養費算定基準額などの数字は正確に覚えていますか。最後にもう1度、これらの数字を確認しておくことで、貴重な1点を確保することができる場合があります。本試験数日前には、忘れずチェックをするようにしてください。

(9) 1週間前に学習したことは覚えている

1週間前に学習したことは、結構、覚えているものです。だとすれば、本試験前の1週間で、全科目に一通り目を通しておけば本試験では正解に比較的、容易にたどりつくことができることとなります。

もし、会社を休めるのであれば、本試験前は休みを取って万全を期してください。それが叶わなかった場合でも、この最後の1週間で一通り目を通しておけば正解できると考えて、取り組んでみてください。

たとえば、問題集の問題部分に答を書きこんでしまって、手早く確認をしていくのも1つの手です。その際には、「なぜ、そうなるのか？」などという理屈を考えたりせずに、納得しなくてもよいので、「そういうものだ。」と思って、「力づく」で押さえていきましょう。最後の1週間で目を通すことができたか、できなかったかが、勝負の分かれ目だと思ってやってみてください。もちろん、問題集ではなくて、お手持ちのテキストの太字部分やマーカーを塗ってある箇所の拾い読みでも構いません。

2. 本試験直前の準備

(1) 朝型にする

択一式の試験開始は9時30分です。この時間に脳が完全に目覚めているように、生活リズムを朝型に変えていきましょう。今まで夜遅くまで学習をすることが多かった人は、夜中の学習時間を減らして、朝早く起きる習慣をつけておきましょう。

(2) 体調を整える

本試験の直前期に過度な追い込み学習は厳禁です。社労士試験は8月下旬の残暑が厳しい時期に1日ばかりで行われるため、試験の出来・不出来は体調（体力）で左右されてしまいます。本試験前1週間は、たとえ学習量を減らしてでも、体調を整えることを優先すべきです。

(3) 択一式を解く科目の順番とおおまかなタイムテーブルを事前に決めておく

どの科目から解いていくかを考えておきましょう。択一式の問題の並びの順番通りに解いていく

人も多いと思いますが、たとえば、年金が苦手な人の場合、苦手な年金科目を頭が冴えている早目の時間帯に解いてしまうことも1つの手でしょうし、逆に、最初は得意な科目から入り、調子を上げてから他の科目を解くやり方もあります。

択一式は、時間との勝負です。最初に導き出した答が勘違いということも当然、あります。したがって、いかに見直しで正解を拾っていくかがポイントになります。見直しをするための必要な時間を確保するために、各科目の時間配分を割り出しておいてください。

(4) 択一式で、難問に当たった場合や1肢読んだら答がわかった場合の対処を事前に考えておく

全く歯が立たない難問が出題された場合にどう対処するのかを考えておきましょう。その1問は飛ばすのか、仮決めて次へ進むのか、難問であっても後回しにせず、しっかり答を出すのか、明確にしておくことです。

また、最初のA肢を読んだだけで、答えがA肢だとわかった場合には、B肢以降を飛ばすのか、それでも全部の肢に目を通すのかなども、自分なりのルールを事前に決めておくべきです。

(5) 択一式で、マークシートに記入するのはいつかを事前に決めておく

「マークシートにいつ記入するか」を決めておくことも必要です。

- ①1問解くごとに記入
- ②1科目ごとにまとめて記入
- ③全70問を一通り終えてから一気に記入

私自身は③の方法を取りましたが、皆さんに適したやり方があるはずですよ。

(6) 受験会場の下見と当日の行き方のシミュレーションをしておく

試験会場は、大学のキャンパスが多いと思います。大学によっては、校舎が複数あって試験会場の場所がわかりづらいケースがあります。また、最寄駅から正門までや、正門から校舎までの距離が離れているところもあります。そのため、時間があれば一度下見をしておくとうれしいです。

それから、当日の会場までの交通手段の発着時刻等を事前に調べておきましょう。朝、何時に起きて、何時に家を出て、何時の電車に乗って、何時に着くのかを、シミュレーションをしておくことです。また、当日、電車の遅延や運転見合わせ等がある場合も想定して、代替の交通機関も事前に確認しておくとうれしいですよ。



(7) 本試験当日に試験会場に何を持っていくか

本試験当日の持参物リストを作っておくと、当日の朝に必要な物を探して慌てたり、あるいは大事なものを持っていくのを忘れていたりといったトラブルを防ぐことができます。

受験票は必須ですのでそれ以外では、最低限、鉛筆（数本）、消しゴム（2個以上）、財布、時計、昼食等は必要だと思われませんが、試験会場で最終チェックするもの（テキスト等）も、何を持参するかを考えておきましょう。

また、たとえば、皆さんの身の回りにある心が落ち着くもの（いわば、お守りのようなもの）があれば、持っていくのもよいでしょう。

3. 本試験での対応

(1) 個数問題への対応

ここ数年、個数問題が出題されるようになりました。個数問題を得意とする人はまずいません。個数問題が出題された場合、誰もが苦手とする問題ですから、「よし！ここを取れば合格に近づく！」と思って乗りきってください。

ただ、どうしても個数問題で調子が狂ってしまうのであれば、個数問題を解くのを後回しにするのも手かもしれません。

(2) 組合せ問題への対応

組合せ問題が出題されたら、チャンスと思きましょう。というのも、たとえば、誤っているものの組合せ問題の場合、ア～オのいずれか1つの誤りの肢がわかれば、おそらく2択に絞り込めるからです。

ただし、最初に解答した肢が勘違いの場合もありますから、それが正解だと信じ切って他の肢を読まずに判断すると、全く違う答を導き出すことになってしまいます。見直しは必須です。

(3) 選択式での計算問題への対応

計算問題が出題されると、頭が真っ白になって、他の選択式の解答にも影響してしまう受験生が見受けられます。計算問題は、おそらく他の受験生も苦戦しますし、仮にA～Eのすべての肢で数字を抜かれていたとしても、単に数字を暗記さえしていれば正解することができる箇所も1～2箇所はあるはずですから、落ち着いて解答してください。

2点救済される可能性も十分ありますので、仮に3つ拾えなくても諦めないで、2点だけは死守する

姿勢で臨んでください。

今年は、健康保険法の高額療養費が改正されていますから、出題されても解答できるよう、計算問題への対策を施しておくことをお勧めします。

4. 本試験当日の心構え・対策

(1) 暑さ・寒さ対策

8月下旬は残暑の厳しい時期ですから、暑さ対策は万全かと思いますが、意外と忘れがちなのが、寒さ対策です。座席の位置によってはクーラーが効きすぎて、身体が冷え切ってしまうこともありますので、羽織るものを用意しておきましょう。

また、どうしてもクーラーの風が直接当たる席になってしまった場合、席を変えてもらうよう申し出ましょう。

(2) 昼休みは友達としゃべらない、答え合わせはしない

昼休みに受験仲間が集まって、午前の択一式試験の答え合わせをする人がいますが、これはあまりお勧めできません。休憩時間は、他の人の声に煩わされることなく、独りでリラックスして頭を休めたり、選択式試験に向けた準備をしたいものです。

実は私が受験した時も、偶然、私のひとつ後ろの席が親しい受験仲間の席だったのですが、昼休みは一言二言言葉を交わしただけで別々に過ごしました。それが正解だったと思います。

5. 最後に

受験会場は独特な雰囲気がありますから、つい吞まれてしまって、上がってしまうことも考えられます。周りの人が自分よりもはるかに頭が良さそうで、ビビってしまうこともあるかもしれませんが、一通りの学習を積んできたあなたも周りの人から見ると、同じように映っている一人のはずです。

本試験は、皆さんが今までがんばってきたことの総決算です。自分がやってきたことを信じて、自分がやってきたことのすべてを出し切ることを考えましょう。諦めずに食らいついていけば、結果は後から付いてきます。

最後になりますが、本試験までの残された日数、体調管理に十分留意され、万全の状態でご本試験当日を迎えてください。皆さんが本試験で持てる力のすべてを出し切り、見事、合格することを心よりお祈りいたしております。